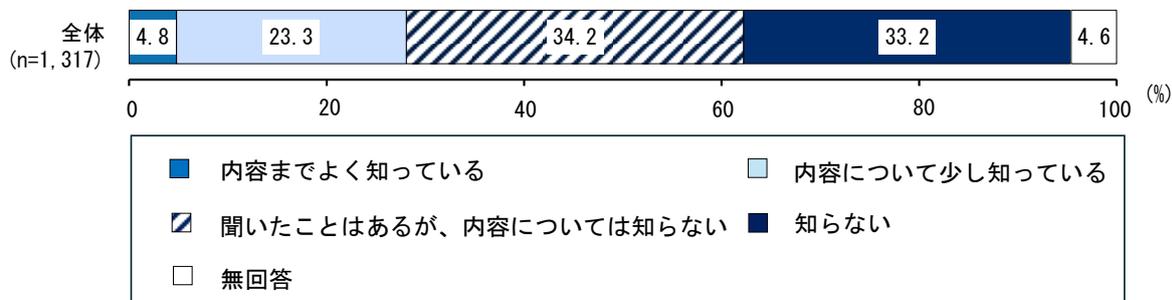


3. 子どもファーストの取組について

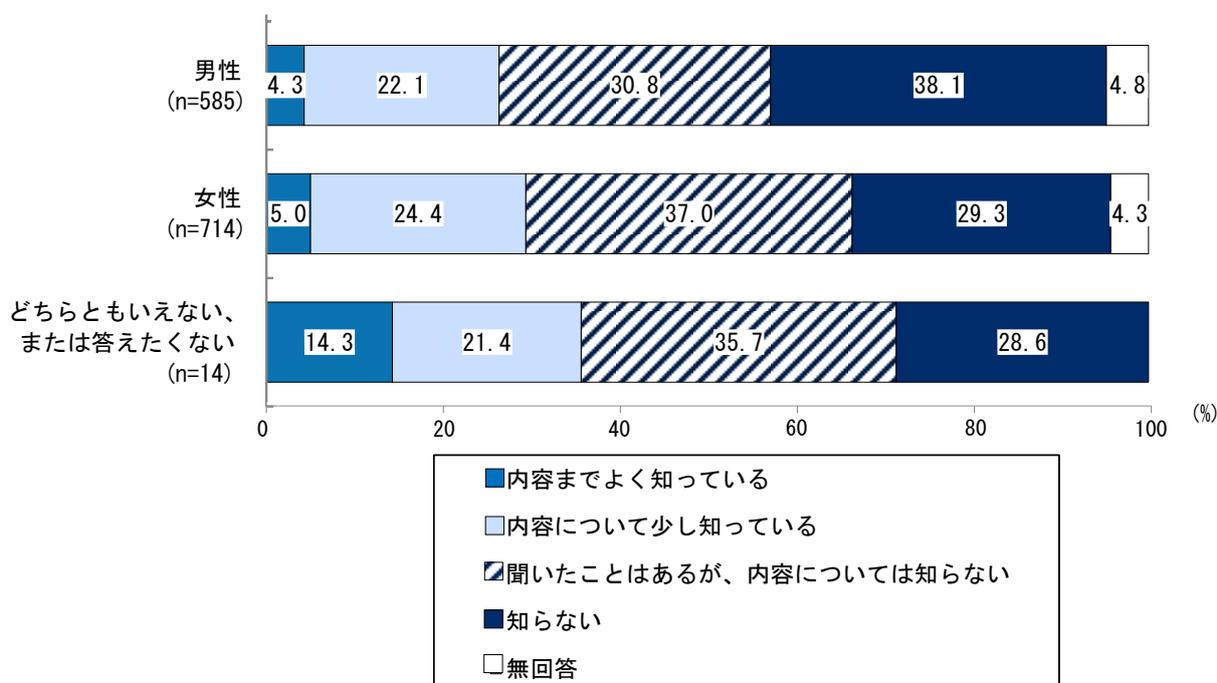
問 17 あなたは、子どもの権利条約について知っていますか。(○は1つ)

図 3-1 子ども権利条約について知っているか



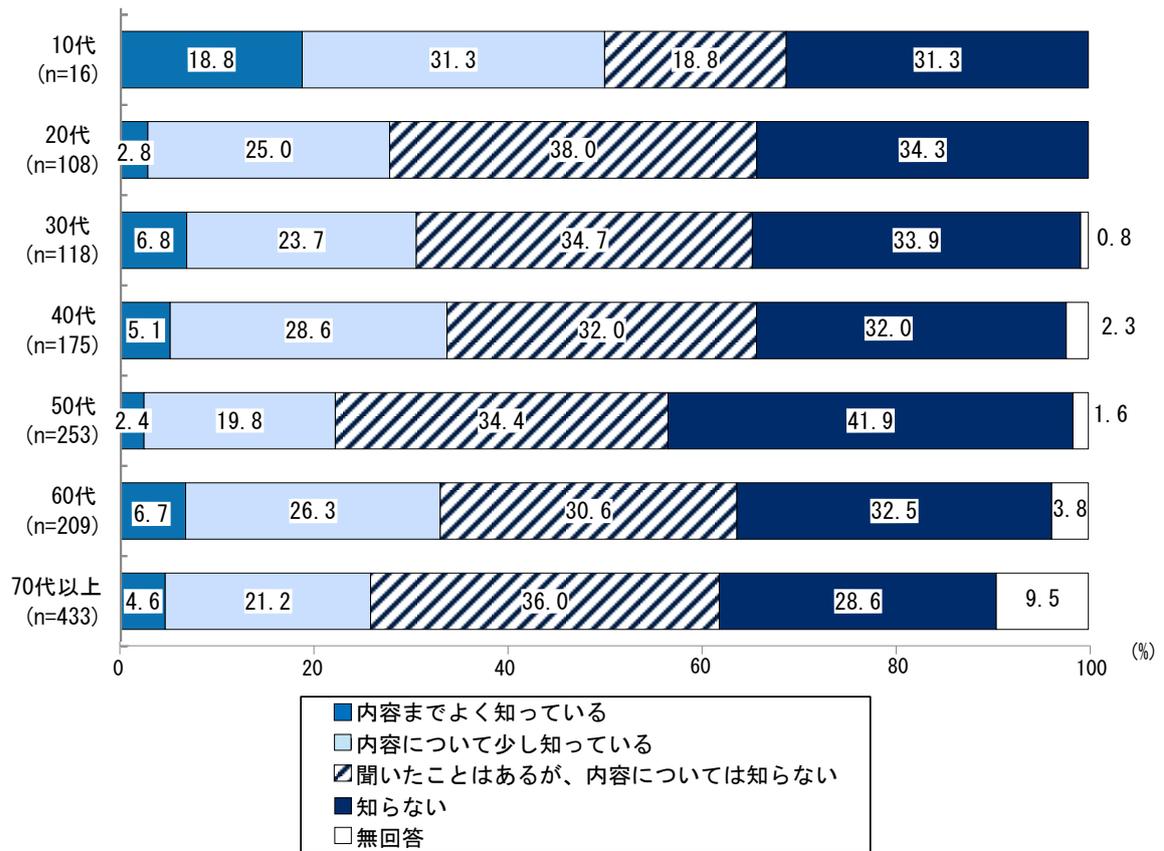
子どもの権利条約について知っているかをたずねた。「内容までよく知っている」が4.8%、「内容について少し知っている」が23.3%、「聞いたことはあるが、内容については知らない」が34.2%、「知らない」が33.2%となっている。(図 3-1)

図 3-2 性別 子ども権利条約について知っているか



性別にみると、「内容までよく知っている」と「内容について少し知っている」をあわせた『知っている』の回答は、男性で26.4%、女性で29.4%となっている。(図 3-2)

図 3-3 年代別 子どもの権利条約について知っているか

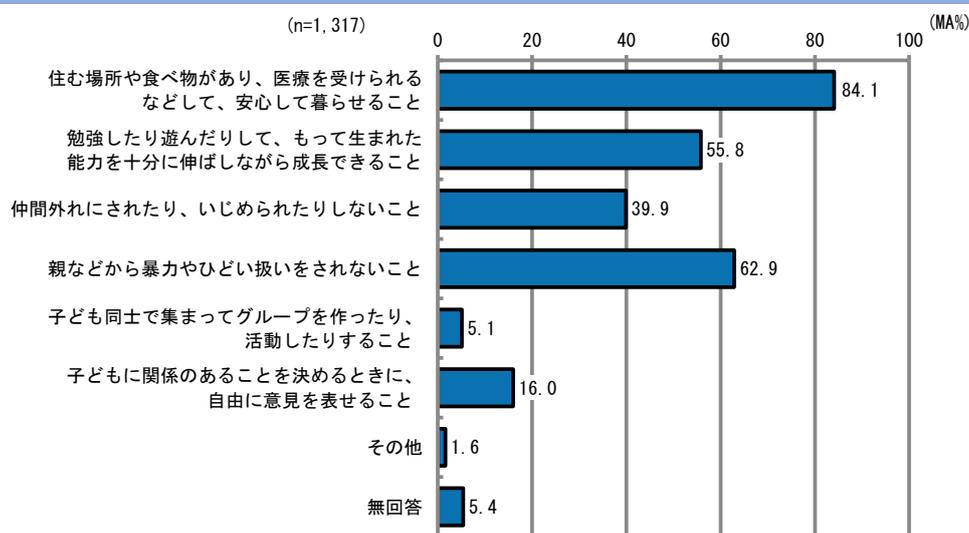


年代別にみると、「内容までよく知っている」と「内容について少し知っている」をあわせた『知っている』の回答は、10代で50.1%となっている。

一方で、それ以外の年代では、「聞いたことはあるが、内容については知らない」と「知らない」をあわせた『知らない』の回答が高くなっており、50代で76.3%、20代で72.3%となっている。(図 3-3)

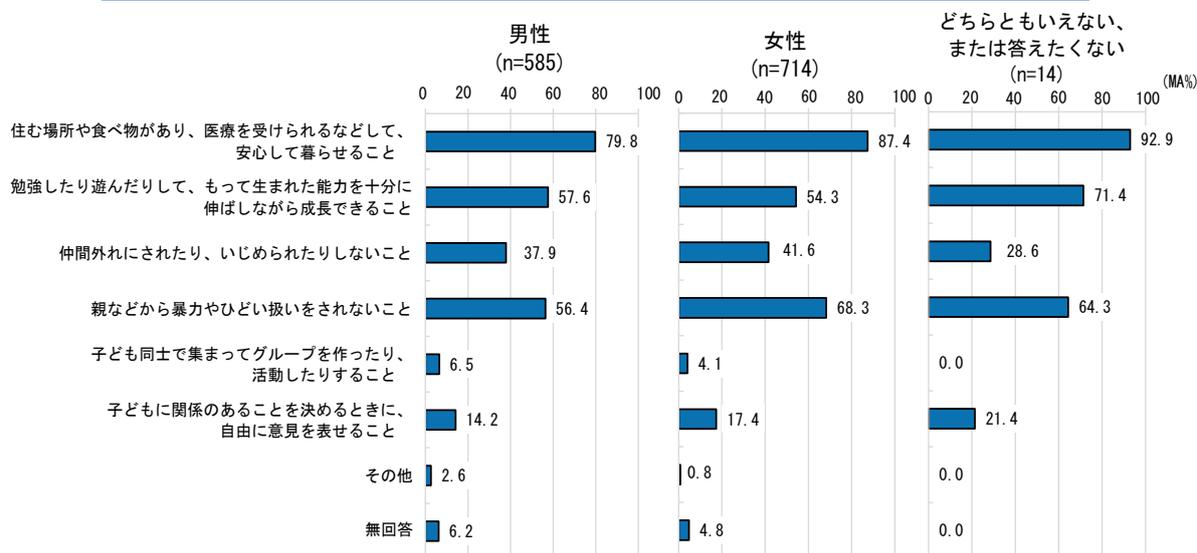
問 18 子どもにとってどのような権利が大切だと思いますか。(○は3つまで)

図 3-4 どのような権利が大切だと思うか



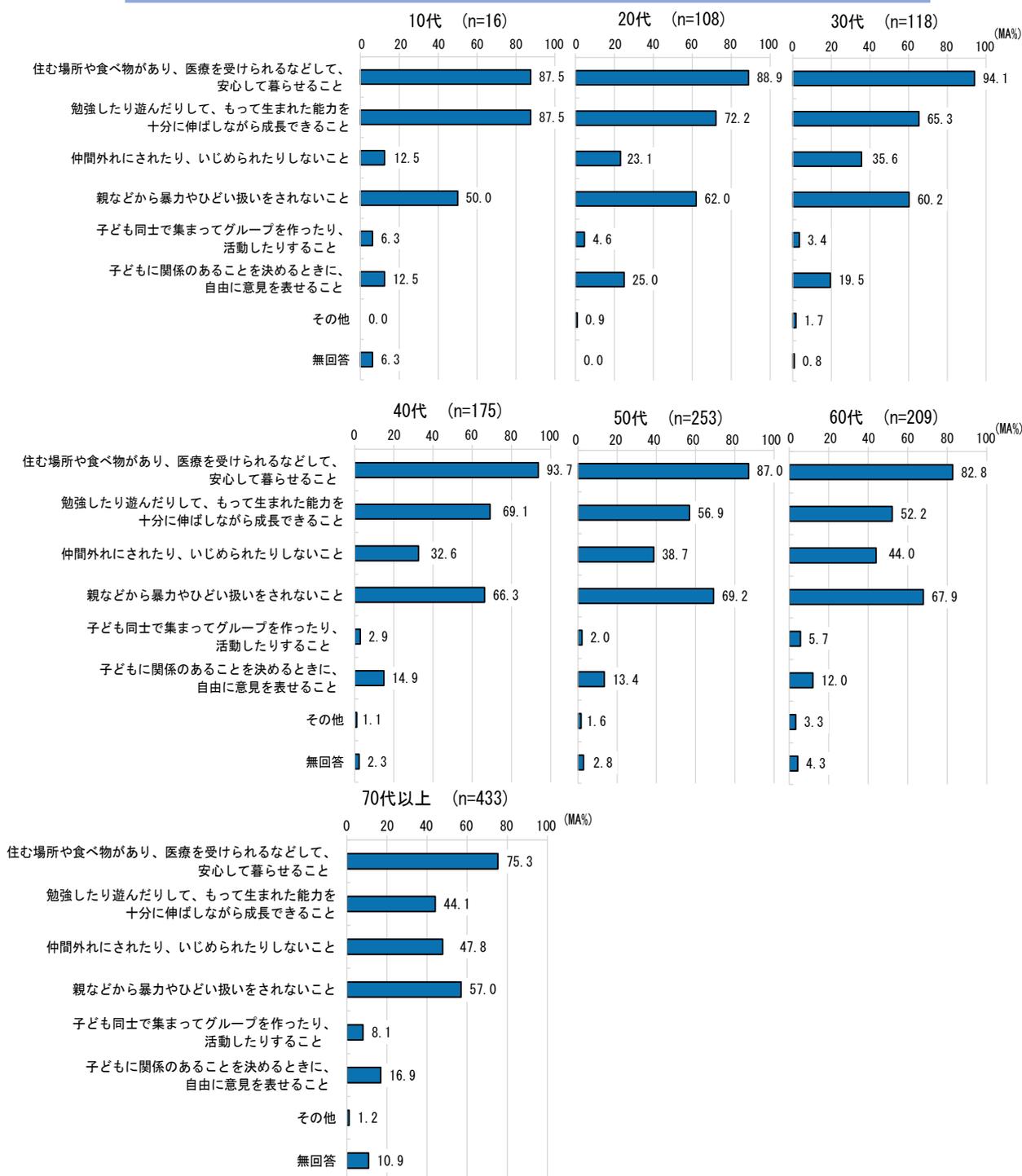
子どもにとってどのような権利が大切だと思うかをたずねた。「住む場所や食べ物があり、医療を受けられるなどして、安心して暮らせること」が84.1%と最も高く、次いで「親などから暴力やひどい扱いをされないこと」が62.9%、「勉強したり遊んだりして、もって生まれた能力を十分に伸ばしながら成長できること」が55.8%となっている。(図 3-4)

図 3-5 性別 どのような権利が大切だと思うか



性別にみると、男女ともに「住む場所や食べ物があり、医療を受けられるなどして、安心して暮らせること」が最も高くなっている。次いで男性では「勉強したり遊んだりして、もって生まれた能力を十分に伸ばしながら成長できること」が57.6%となっており、女性では「親などから暴力やひどい扱いをされないこと」が68.3%となっている。(図 3-5)

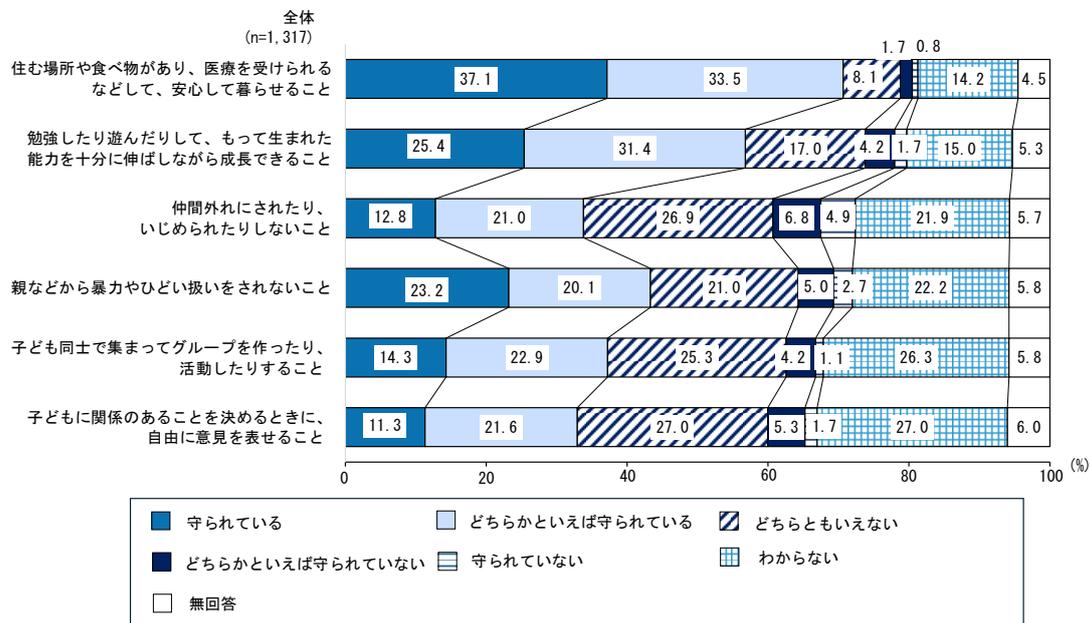
図 3-6 年代別 どのような権利が大切だと思うか



年代別にみると、すべての年代で「住む場所や食べ物があり、医療を受けられるなどして、安心して暮らせること」が最も高くなっている。次いで40代以下では「勉強したり遊んだりして、もって生まれた能力を十分に伸ばしながら成長できること」が高くなっており（10代は同率）、50代以上では「親などから暴力やひどい扱いをされないこと」が高くなっている。（図 3-6）

問 19 あなたの周りの子どもたちは、「子どもの権利」が守られていると思いますか。
(○はそれぞれ1つ)

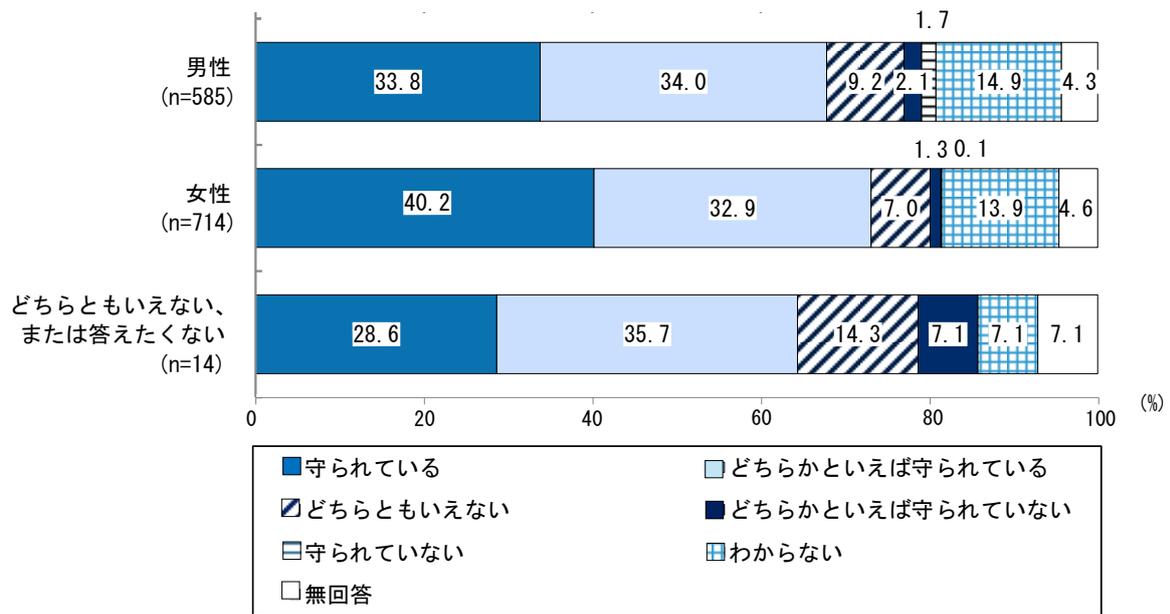
図 3-7 「子どもの権利」が守られていると思うか



回答者の周りの子どもたちは、「子どもの権利」が守られていると思うかをたずねた。

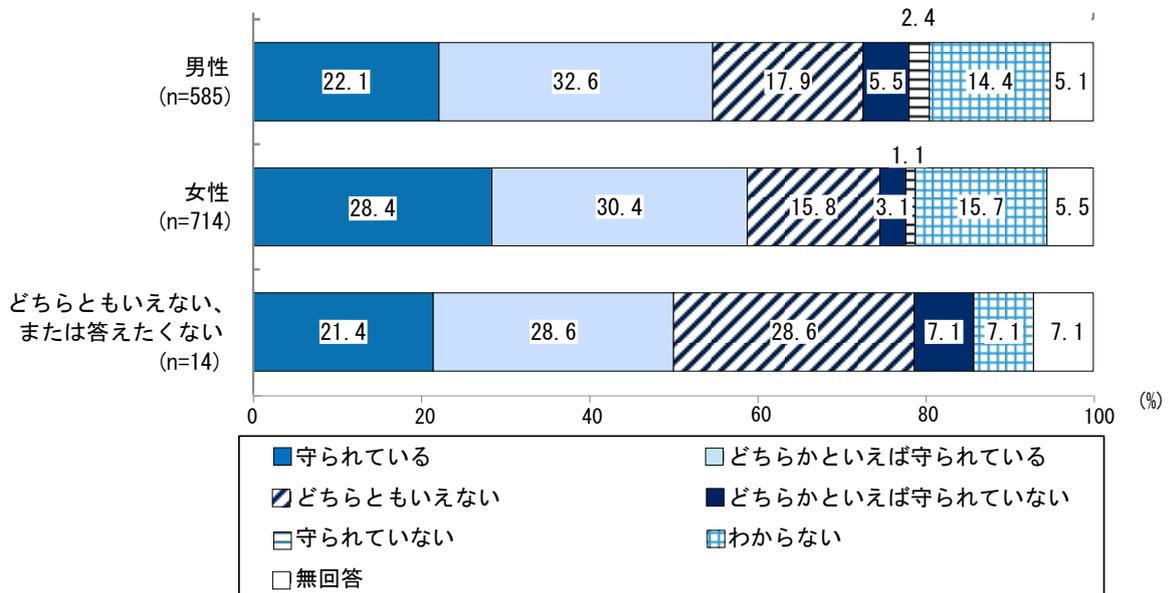
- ①『住む場所や食べ物があり、医療を受けられるなどして、安心して暮らせること』について、「守られている」が37.1%、「どちらかといえば守られている」が33.5%、「どちらともいえない」が8.1%、「どちらかといえば守られていない」が1.7%、「守られていない」が0.8%となっている。
- ②『勉強したり遊んだりして、もって生まれた能力を十分に伸ばしながら成長できること』について、「守られている」が25.4%、「どちらかといえば守られている」が31.4%、「どちらともいえない」が17.0%、「どちらかといえば守られていない」が4.2%、「守られていない」が1.7%となっている。
- ③『仲間外れにされたり、いじめられたりしないこと』について、「守られている」が12.8%、「どちらかといえば守られている」が21.0%、「どちらともいえない」が26.9%、「どちらかといえば守られていない」が6.8%、「守られていない」が4.9%となっている。
- ④『親などから暴力やひどい扱いをされないこと』について、「守られている」が23.2%、「どちらかといえば守られている」が20.1%、「どちらともいえない」が21.0%、「どちらかといえば守られていない」が5.0%、「守られていない」が2.7%となっている。
- ⑤『子ども同士で集まってグループを作ったり、活動したりすること』について、「守られている」が14.3%、「どちらかといえば守られている」が22.9%、「どちらともいえない」が25.3%、「どちらかといえば守られていない」が4.2%、「守られていない」が1.1%となっている。
- ⑥『子どもに関係のあることを決めるときに、自由に意見を表せること』について、「守られている」が11.3%、「どちらかといえば守られている」が21.6%、「どちらともいえない」が27.0%、「どちらかといえば守られていない」が5.3%、「守られていない」が1.7%となっている。(図3-7)

図 3-8 性別 「子どもの権利」が守られていると思うか
 ④住む場所や食べ物があり、医療を受けられるなどして、安心して暮らせること



性別にみると、「守られている」と「どちらかといえば守られている」をあわせた『守られている』の回答は、男性で67.8%、女性が73.1%となっている。(図 3-8)

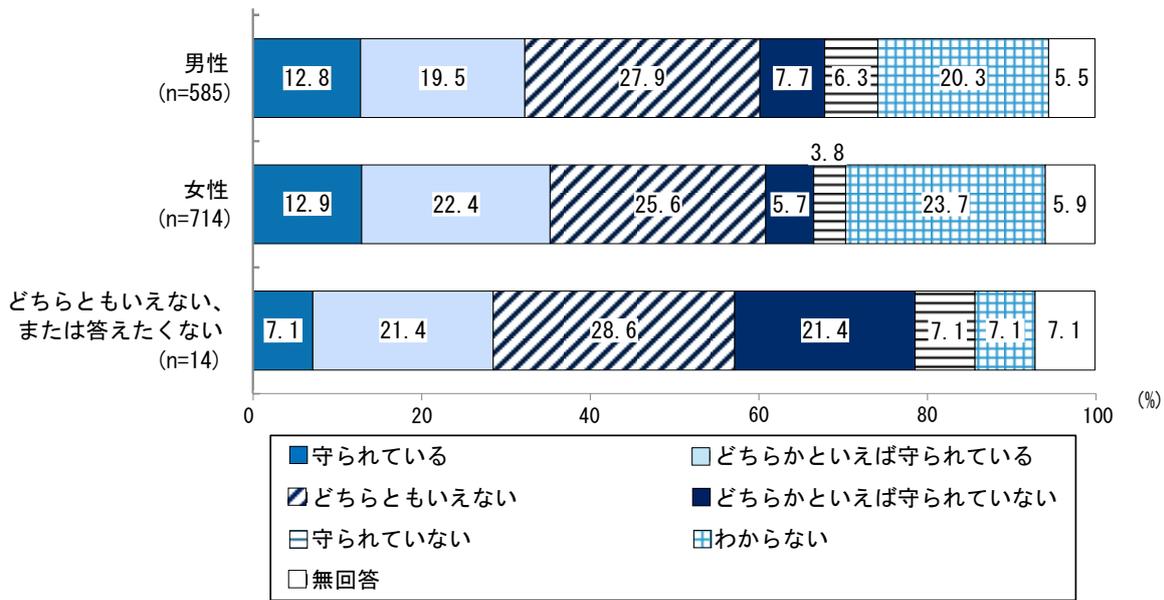
図 3-9 性別 「子どもの権利」が守られていると思うか
 ⑤勉強したり遊んだりして、もって生まれた能力を十分に伸ばしながら成長できること



性別にみると、「守られている」と「どちらかといえば守られている」をあわせた『守られている』の回答は、男性で54.7%、女性が58.8%となっている。(図 3-9)

図 3-10 性別 「子どもの権利」が守られていると思うか

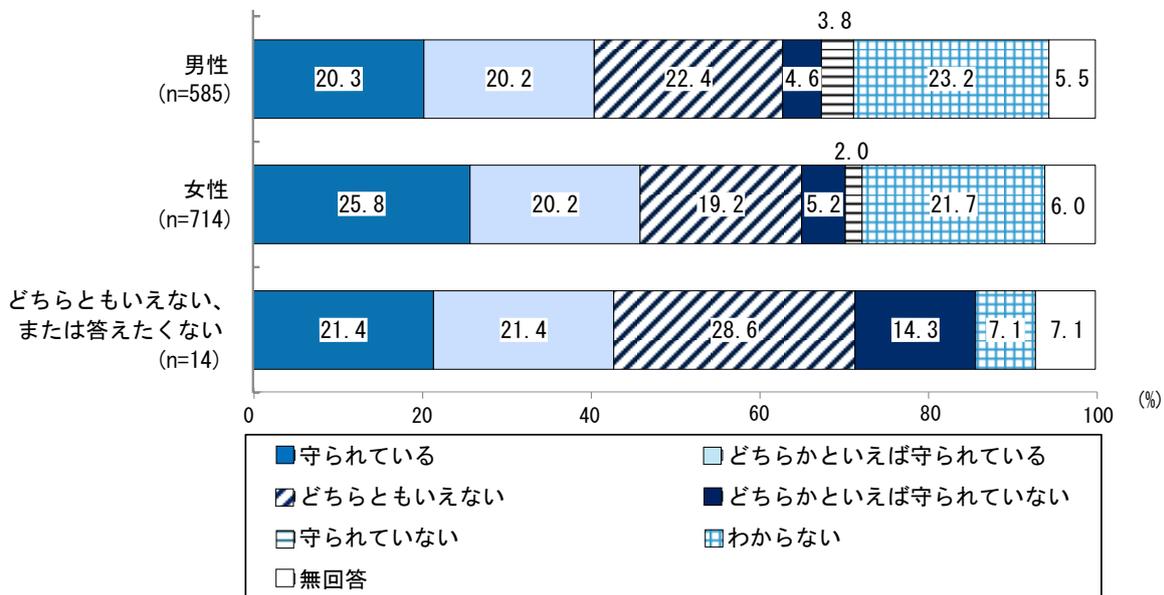
◎仲間外れにされたり、いじめられたりしないこと



性別にみると、「守られている」と「どちらかといえば守られている」をあわせた『守られている』の回答は、男性で32.3%、女性が35.3%となっている。(図 3-10)

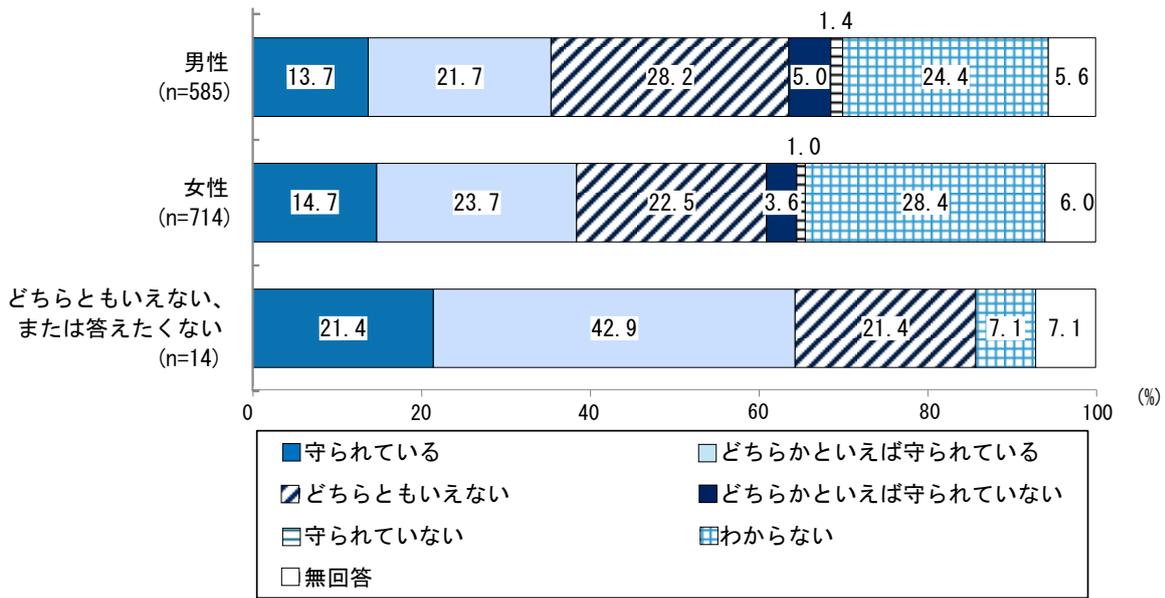
図 3-11 性別 「子どもの権利」が守られていると思うか

①親などから暴力やひどい扱いをされないこと



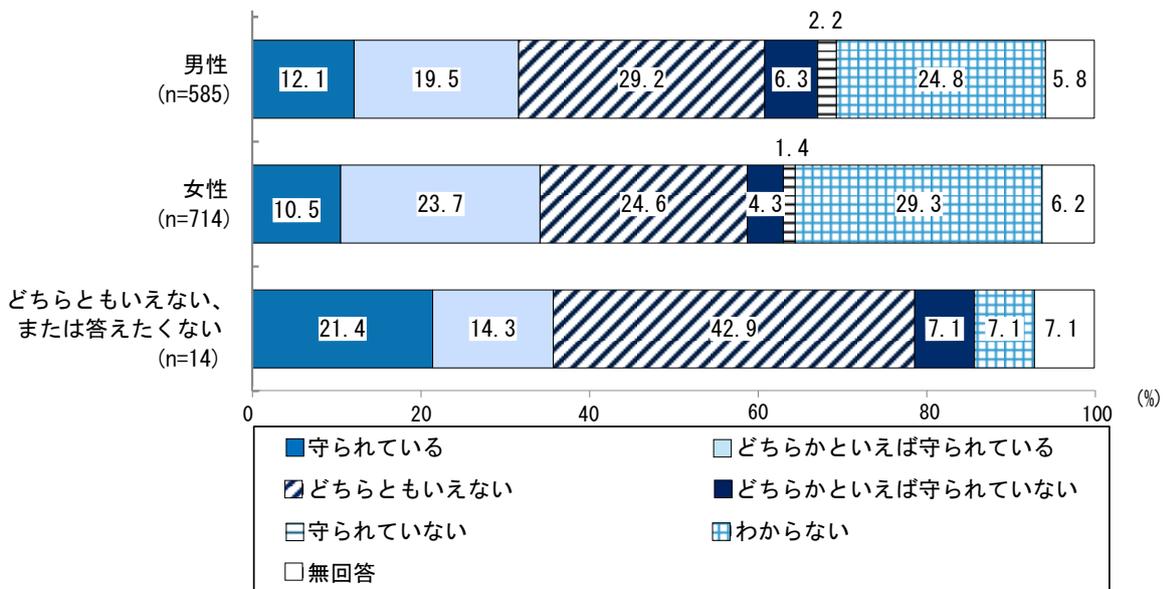
性別にみると、「守られている」と「どちらかといえば守られている」をあわせた『守られている』の回答は、男性で40.5%、女性が46.0%となっている。(図 3-11)

図 3-12 性別 「子どもの権利」が守られていると思うか
 ㊦子ども同士で集まってグループを作ったり、活動したりすること



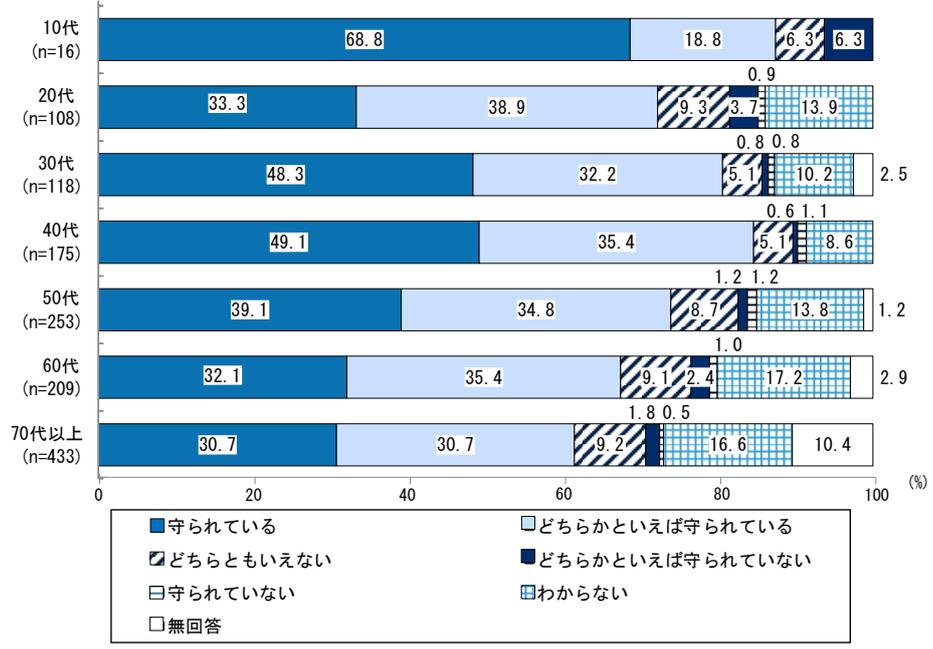
性別にみると、「守られている」と「どちらかといえば守られている」をあわせた『守られている』の回答は、男性で35.4%、女性が38.4%となっている。(図 3-12)

図 3-13 性別 「子どもの権利」が守られていると思うか
 ㊦子どもに関係のあることを決めるときに、自由に意見を表せること



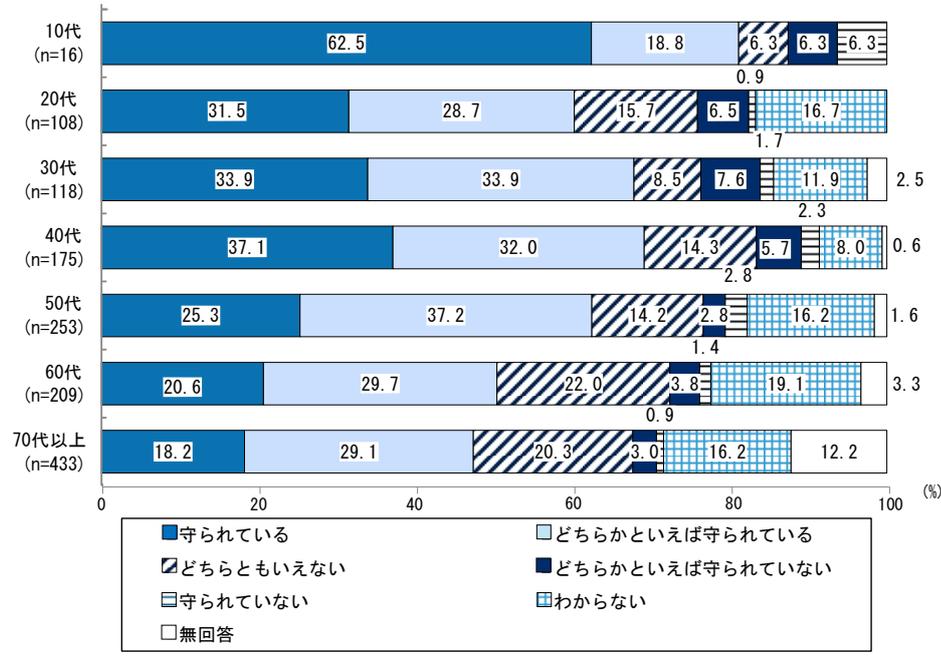
性別にみると、「守られている」と「どちらかといえば守られている」をあわせた『守られている』の回答は、男性で31.6%、女性が34.2%となっている。(図 3-13)

図 3-14 年代別 「子どもの権利」が守られていると思うか
 ④住む場所や食べ物があり、医療を受けられるなどして、安心して暮らせること



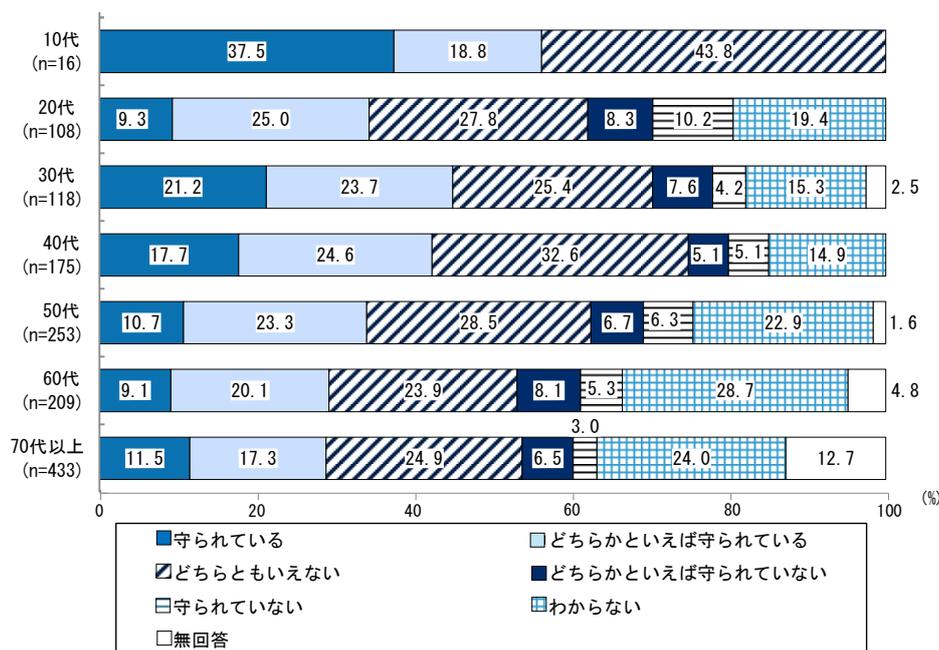
年代別にみると、「守られている」と「どちらかといえば守られている」をあわせた『守られている』の回答は、すべての年代で50%を超えており、10代で87.6%、40代で84.5%、30代で80.5%となっている。(図 3-14)

図 3-15 年代別 「子どもの権利」が守られていると思うか
 ⑤勉強したり遊んだりして、もって生まれた能力を十分に伸ばしながら成長できること



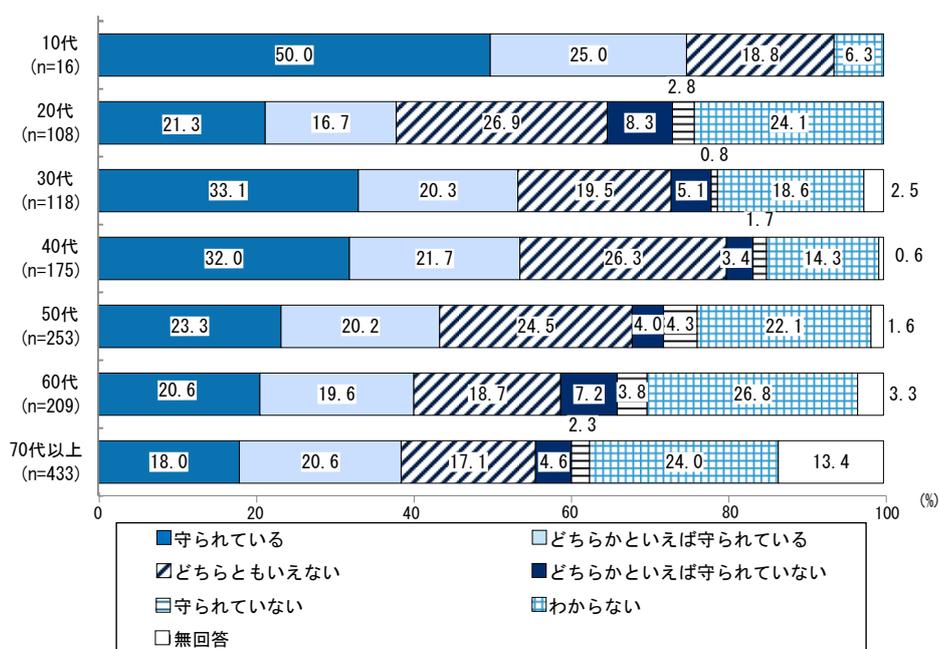
年代別にみると、「守られている」と「どちらかといえば守られている」をあわせた『守られている』の回答は、60代以下で50%を超えており、10代で81.3%、40代で69.1%、30代で67.8%となっている。(図 3-15)

図 3-16 年代別 「子どもの権利」が守られていると思うか
 ◎仲間外れにされたり、いじめられたりしないこと



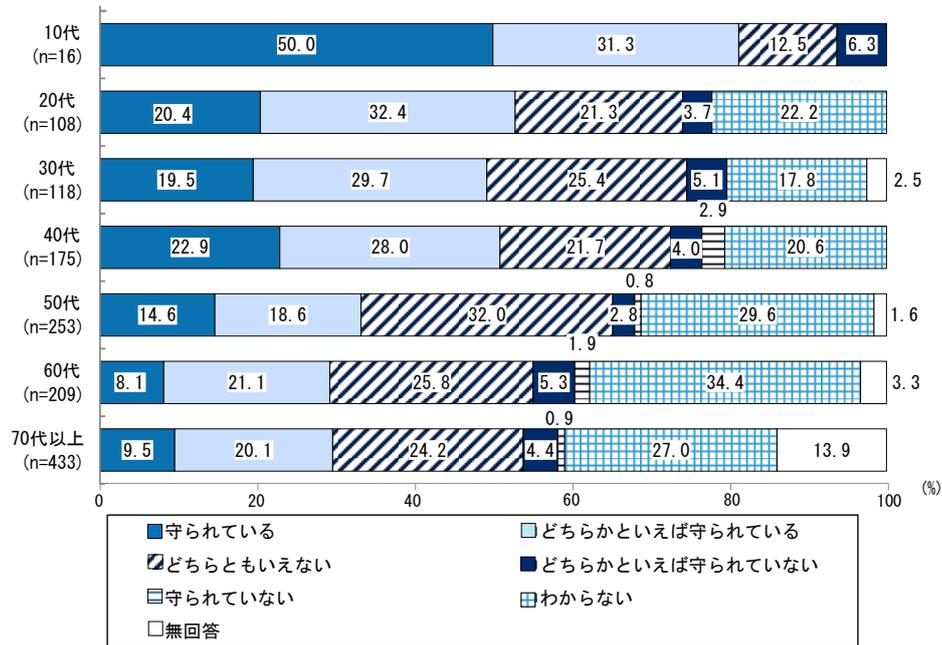
年代別にみると、「守られている」と「どちらかといえば守られている」をあわせた『守られている』の回答は、20代以上では50%を下回り、10代で56.3%、30代で44.9%、40代で42.3%となっている。(図 3-16)

図 3-17 年代別 「子どもの権利」が守られていると思うか
 ④親などから暴力やひどい扱いをされないこと



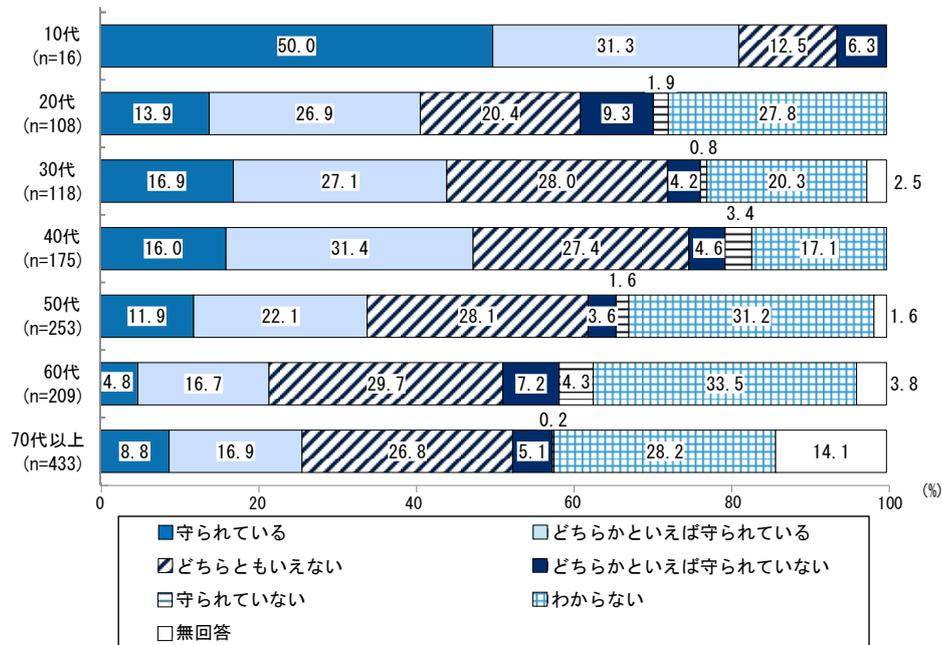
年代別にみると、「守られている」と「どちらかといえば守られている」をあわせた『守られている』の回答は、10代、30代、40代で50%を超えており、10代で75.0%、40代で53.7%、30代で53.4%となっている。(図 3-17)

図 3-18 年代別 「子どもの権利」が守られていると思うか
 ㊦子ども同士で集まってグループを作ったり、活動したりすること



年代別にみると、「守られている」と「どちらかといえば守られている」をあわせた『守られている』の回答は、10代、20代、40代で50%を超えており、10代で81.3%、20代で52.8%、40代で50.9%となっている。(図 3-18)

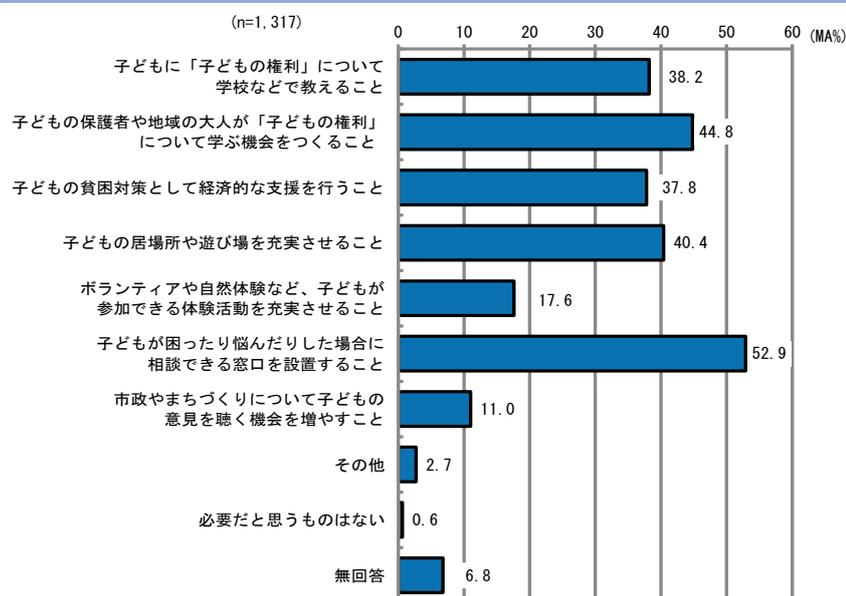
図 3-19 年代別 「子どもの権利」が守られていると思うか
 ㊦子どもに関係のあることを決めるときに、自由に意見を表せること



年代別にみると、「守られている」と「どちらかといえば守られている」をあわせた『守られている』の回答は、20代以上では50%を下回り、10代で81.3%、40代で47.4%、30代で44.0%となっている。(図 3-19)

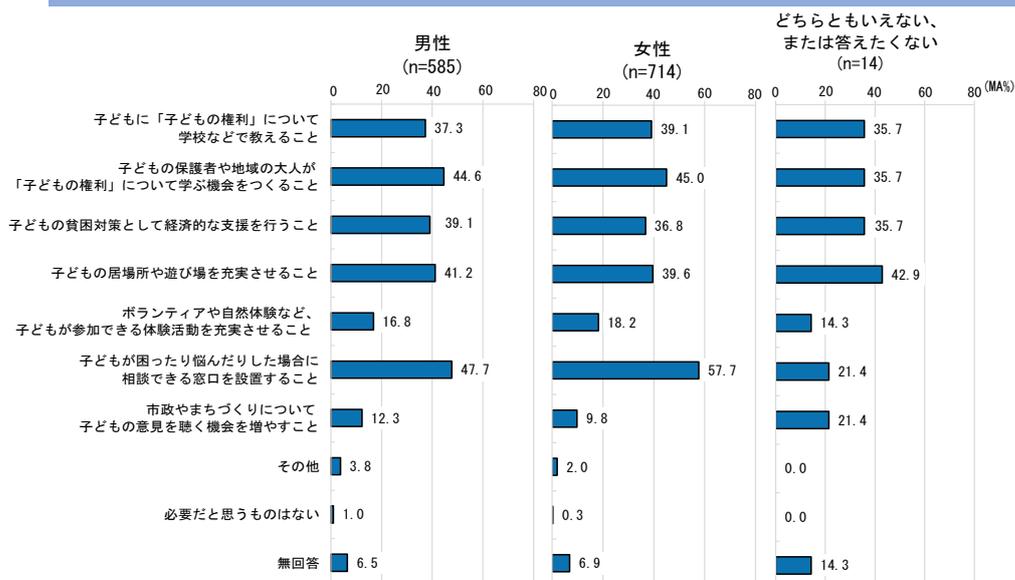
問 20 「子どもの権利」を守るためにどのようなことが必要だと思いますか。
(○は3つまで)

図 3-20 「子どもの権利」を守るために必要なこと



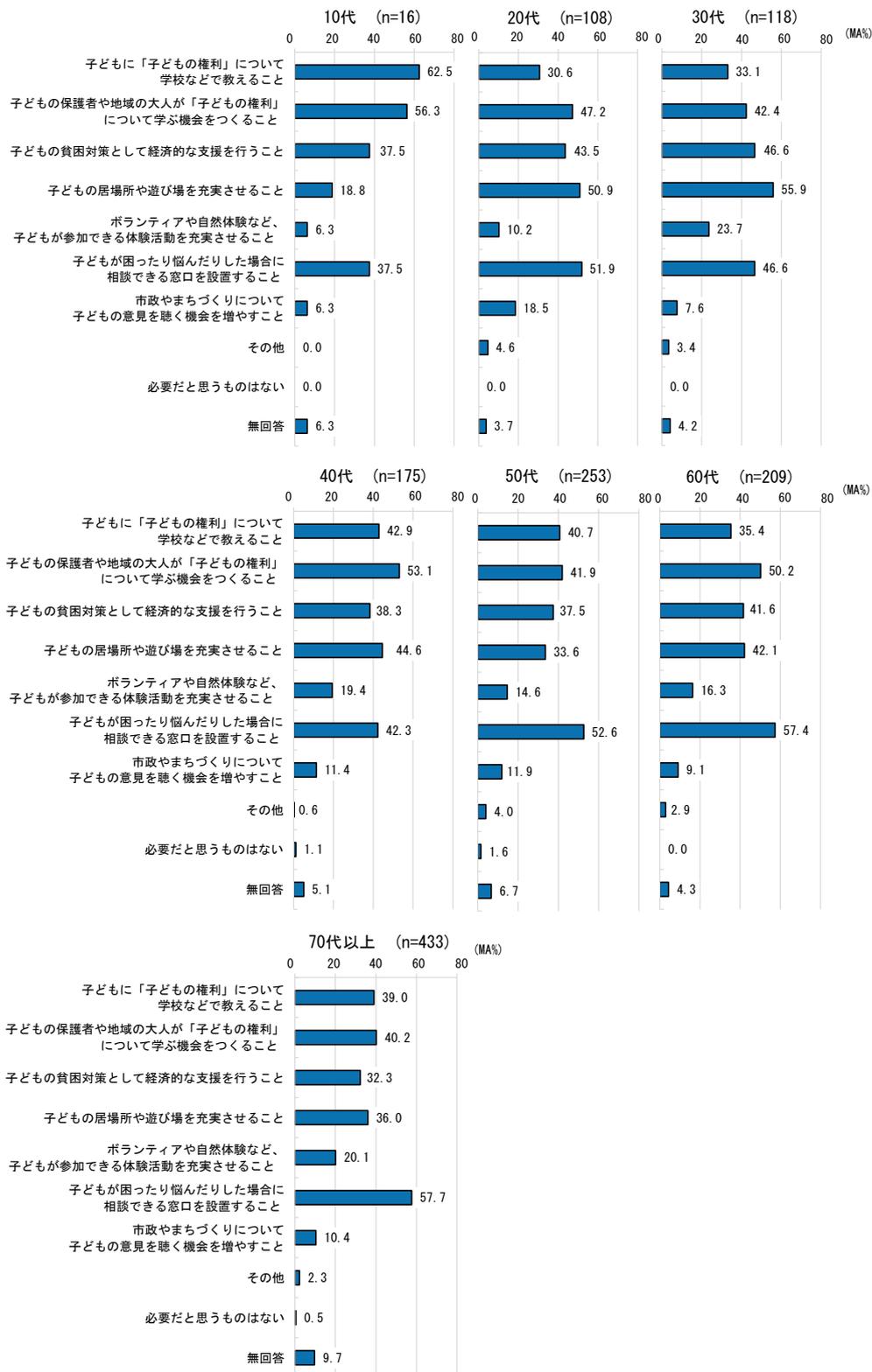
「子どもの権利」を守るためにどのようなことが必要だと思うかをたずねた。「子どもが困ったり悩んだりした場合に相談できる窓口を設置すること」が52.9%と最も高く、次いで「子どもの保護者や地域の大人が『子どもの権利』について学ぶ機会をつくること」が44.8%、「子どもの居場所や遊び場を充実させること」が40.4%となっている。(図 3-20)

図 3-21 性別 「子どもの権利」を守るために必要なこと



性別にみると、男女ともに「子どもが困ったり悩んだりした場合に相談できる窓口を設置すること」が最も高く、男性で47.7%、女性で57.7%と女性が男性を10.0ポイント上回っている。(図 3-21)

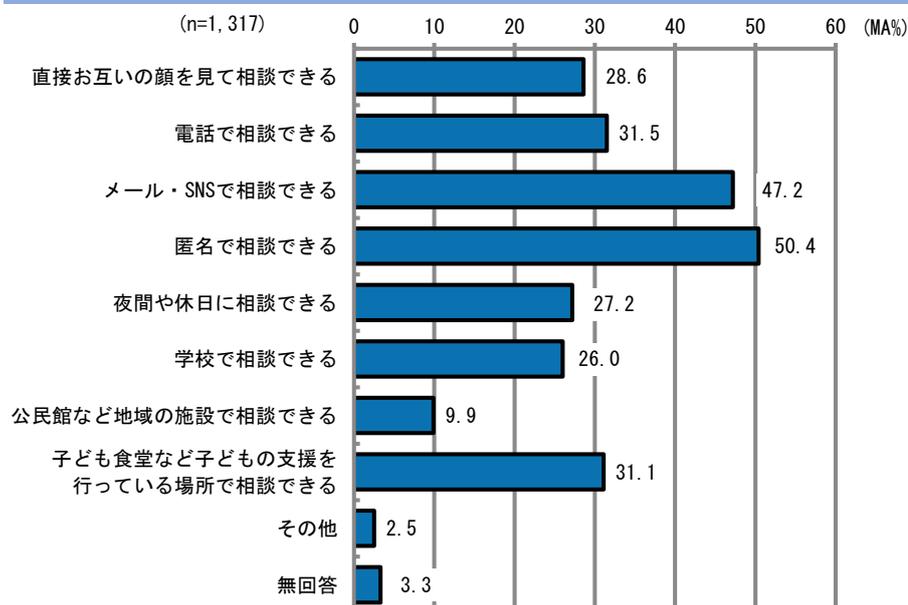
図 3-22 年代別 「子どもの権利」を守るために必要なこと



年代別にみると、20代と50代以上では「子どもが困ったり悩んだりした場合に相談できる窓口を設置すること」が最も高くなっている。また、10代では「子どもに『子どもの権利』について学校などで教えること」が62.5%、30代では「子どもの居場所や遊び場を充実させること」が55.9%、40代では「子どもの保護者や地域の大人が『子どもの権利』について学ぶ機会をつくること」が53.1%と最も高くなっている。(図 3-22)

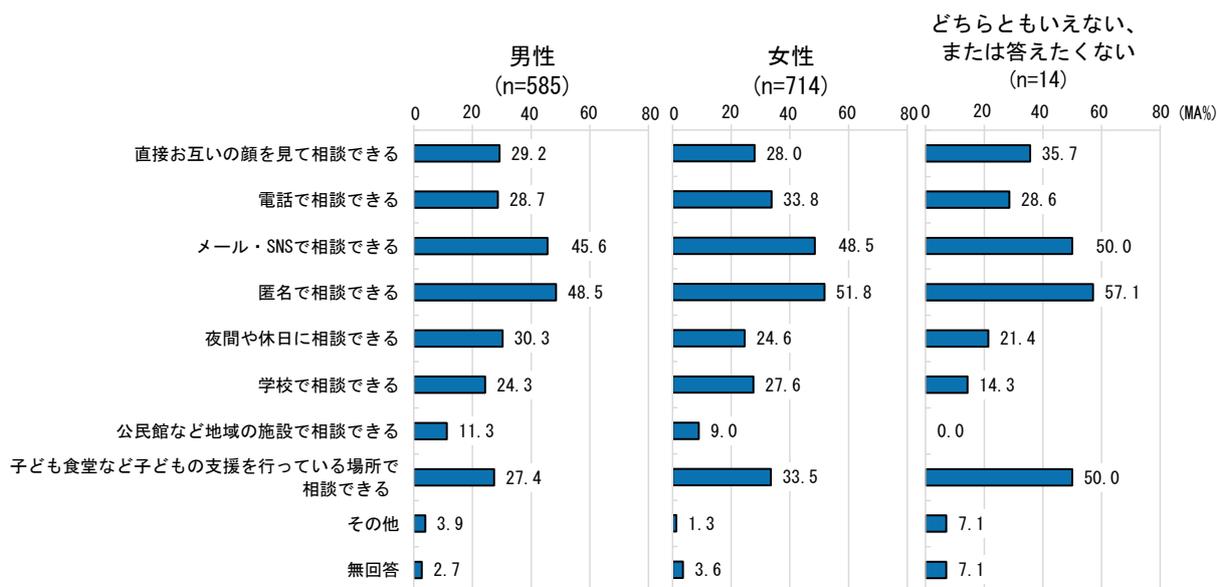
問 21 子どもが困ったり悩んだりした場合に、どのような相談窓口があれば相談しやすいと思いますか。(〇は3つまで)

図 3-23 どのような相談窓口があれば相談しやすいと思うか



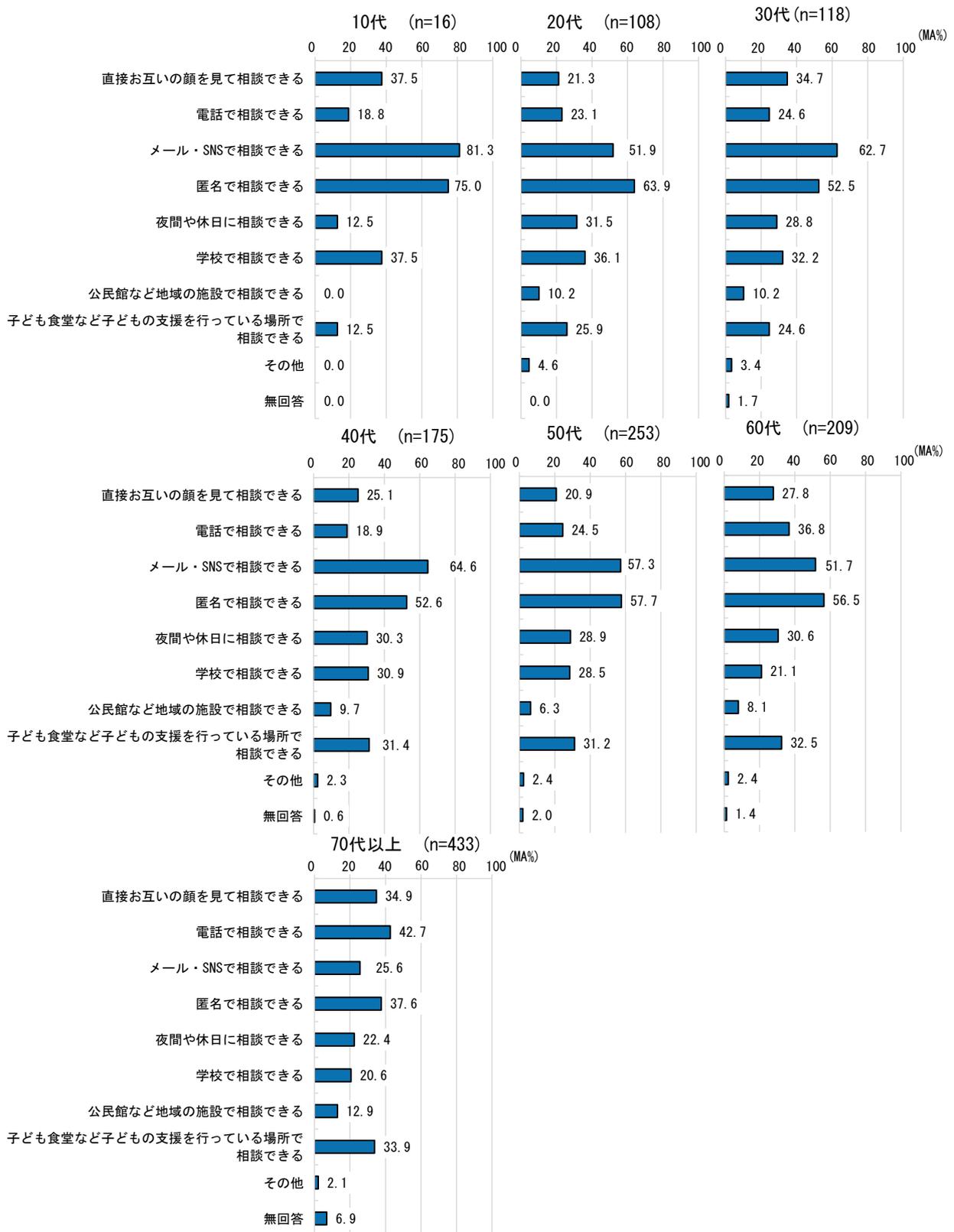
子どもが困ったり悩んだりした場合に、どのような相談窓口があれば相談しやすいと思うかをたずねた。「匿名で相談できる」が50.4%と最も高く、次いで「メール・SNSで相談できる」が47.2%、「電話で相談できる」が31.5%となっている。(図 3-23)

図 3-24 性別 どのような相談窓口があれば相談しやすいと思うか



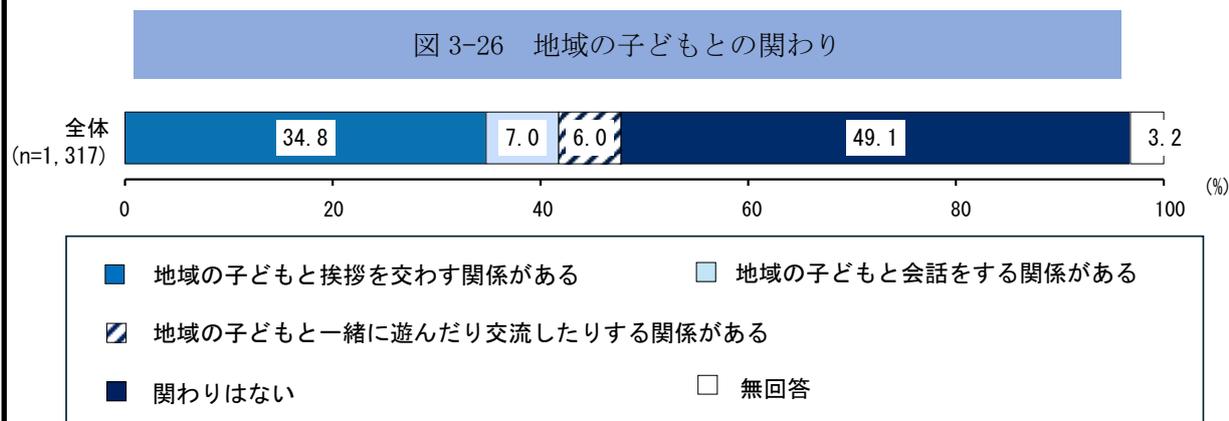
性別にみると、男女ともに「匿名で相談できる」が最も高く、男性で48.5%、女性で51.8%となっており、次いで「メール・SNSで相談できる」となっている。(図 3-24)

図 3-25 年代別 どのような相談窓口があれば相談しやすいと思うか



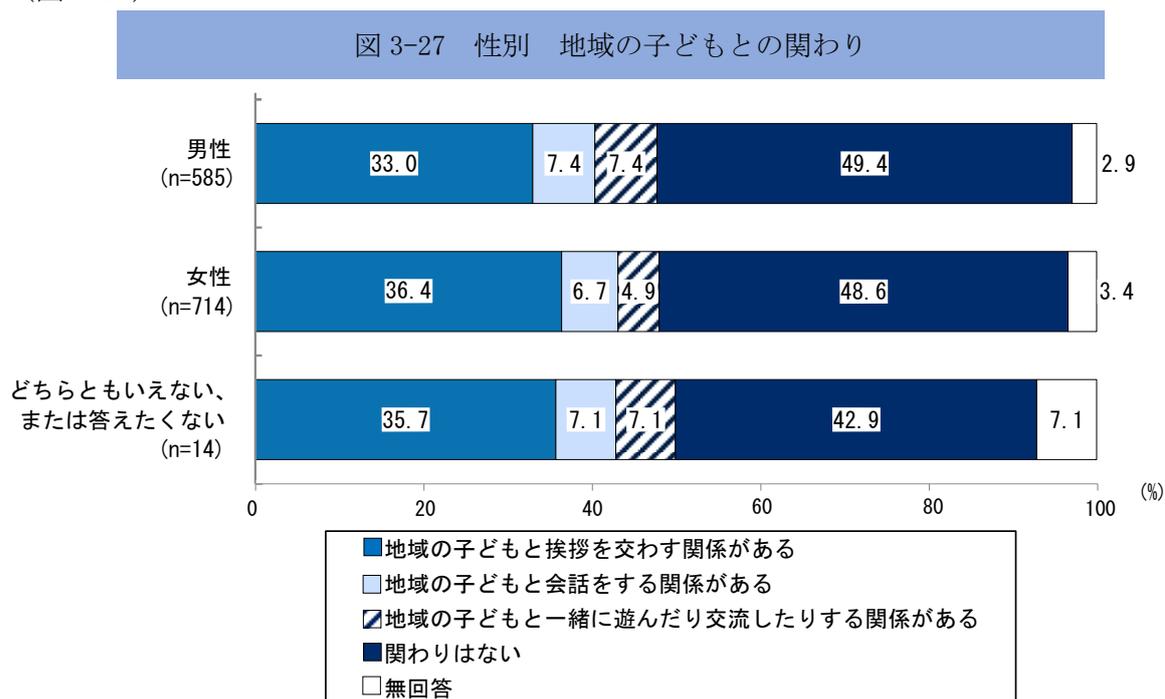
年代別にみると、20代、50代、60代では「匿名で相談できる」が最も高くなっている。また、10代、30代、40代では「メール・SNSで相談できる」が最も高くなっている。一方、70代以上では「電話で相談できる」が最も高くなっている。(図 3-25)

問 22 地域の子どもとの関わりについて、最も当てはまるものを教えてください。
 (○は1つ)



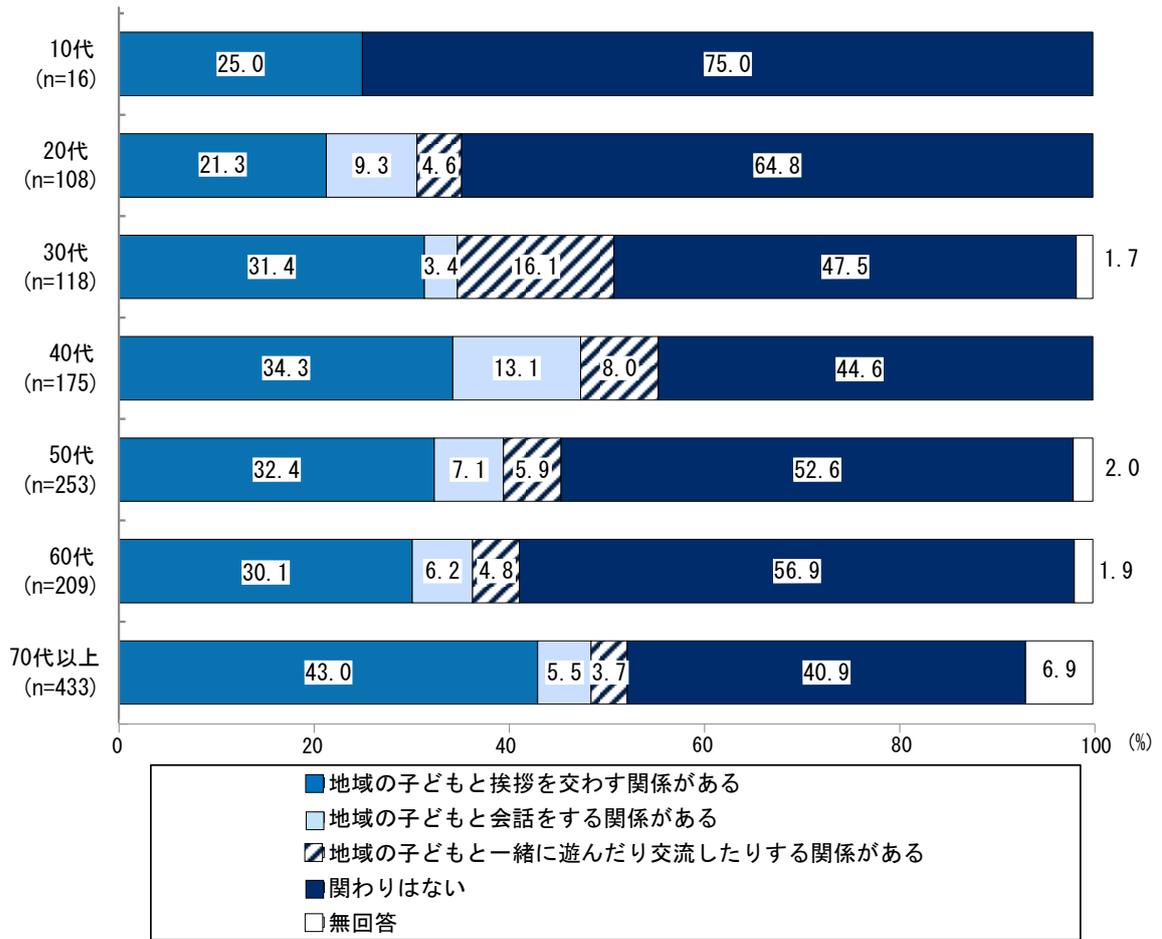
地域の子どもとの関わりについてたずねた。「地域の子どもと挨拶を交わす関係がある」が34.8%、「地域の子どもと会話をする関係がある」が7.0%、「地域の子どもと一緒に遊んだり交流したりする関係がある」が6.0%、「関わりはない」が49.1%となっている。

(図 3-26)



性別にみると、「地域の子どもと挨拶を交わす関係がある」、「地域の子どもと会話をする関係がある」、「地域の子どもと一緒に遊んだり交流したりする関係がある」をあわせた『関係がある』の回答は、男性で47.8%、女性で48.0%となっている。(図 3-27)

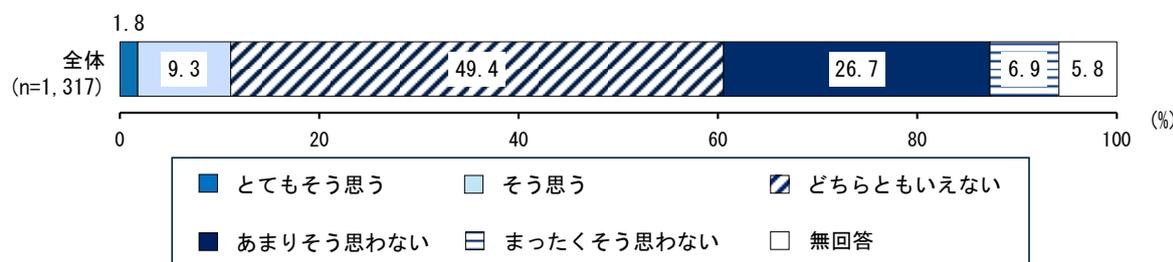
図 3-28 年代別 地域の子どもとの関わり



年代別にみると、「地域の子どもと挨拶を交わす関係がある」、「地域の子どもと会話をする関係がある」、「地域の子どもと一緒に遊んだり交流したりする関係がある」をあわせた『関係がある』の回答は、40代で55.4%と最も高く、次いで70代以上で52.2%、30代で50.9%となっている。(図 3-28)

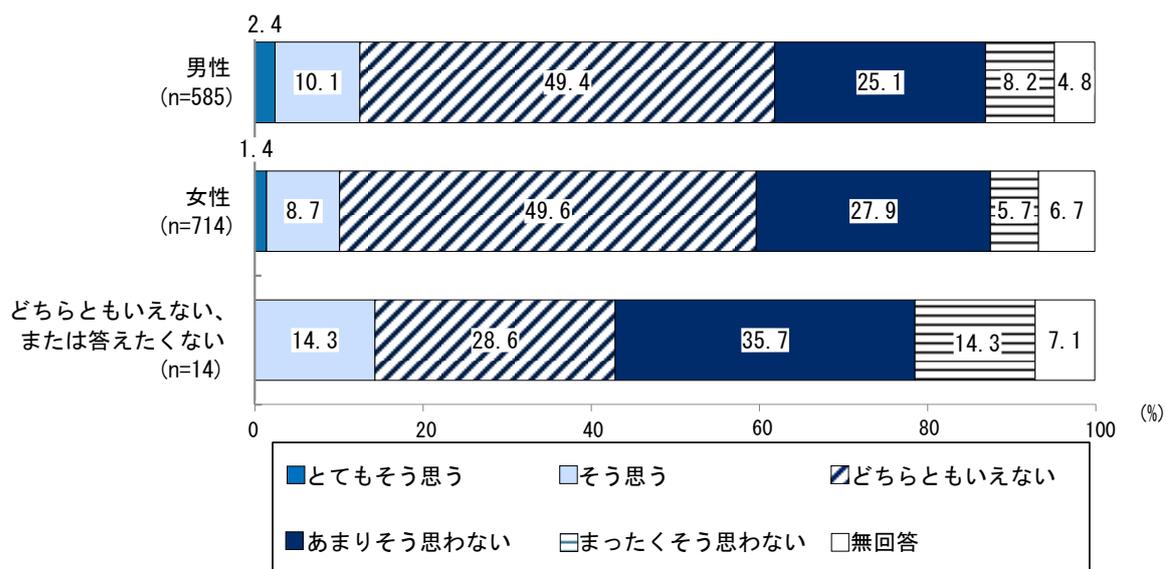
問 23 本市では、子ども・若者の意見がまちづくりに反映されていると思いますか。(〇は1つ)

図 3-29 子ども・若者の意見がまちづくりに反映されていると思うか



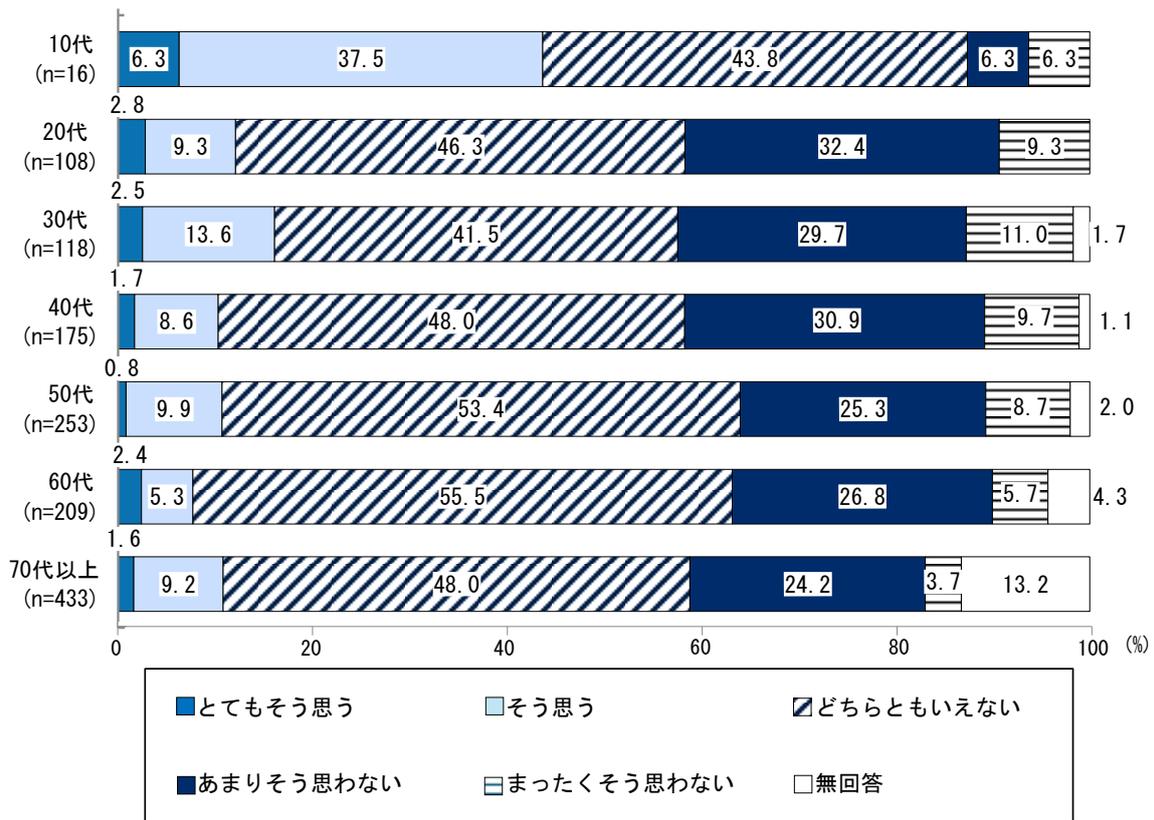
子ども・若者の意見がまちづくりに反映されていると思うかをたずねた。「とてもそう思う」が1.8%、「そう思う」が9.3%、「どちらともいえない」が49.4%、「あまりそう思わない」が26.7%、「まったくそう思わない」が6.9%となっている。(図 3-29)

図 3-30 性別 子ども・若者の意見がまちづくりに反映されていると思うか



性別にみると、男女ともに「どちらともいえない」が最も高くなっている。また、「あまりそう思わない」と「まったくそう思わない」をあわせた『そう思わない』の回答は、男性で33.3%、女性で33.6%となっている。(図 3-30)

図 3-31 年代別 子ども・若者の意見がまちづくりに反映されていると思うか

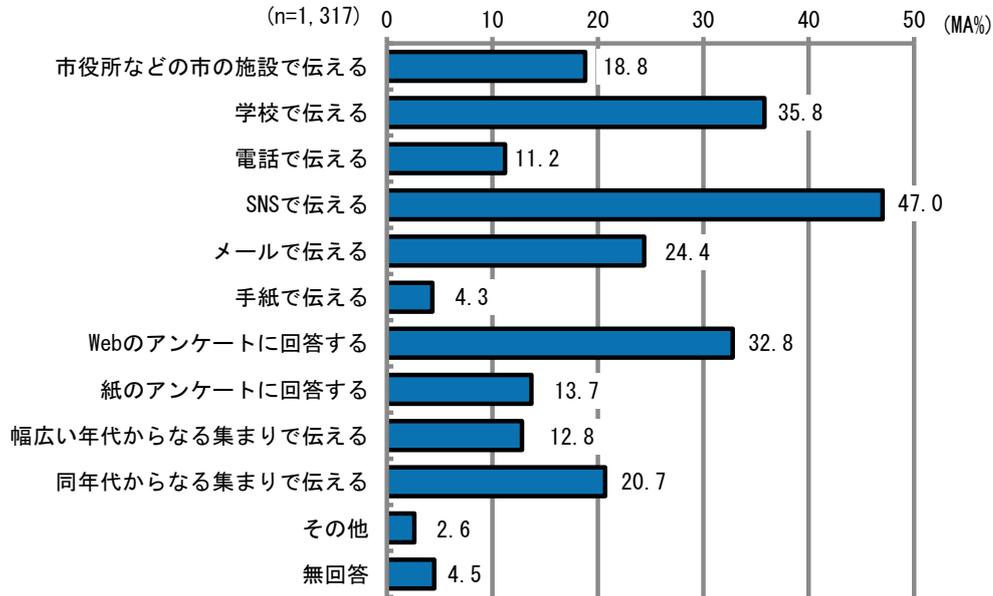


年代別にみると、すべての年代で「どちらともいえない」が最も高くなっている。また、「あまりそう思わない」と「まったくそう思わない」をあわせた『そう思わない』の回答は、20代で41.7%と最も高く、次いで30代で40.7%、40代で40.6%となっている。

(図 3-31)

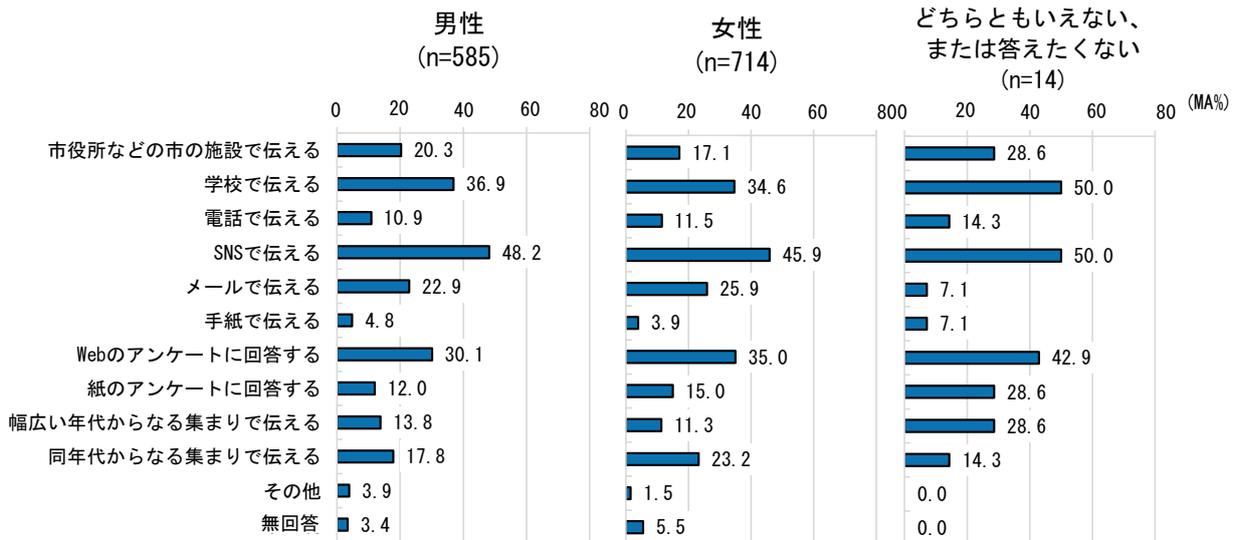
問 24 どのような方法や手段があれば、子ども・若者が市に対して意見を伝えやすいと思いますか。(〇は3つまで)

図 3-32 子ども・若者が市に意見を伝えやすい方法や手段



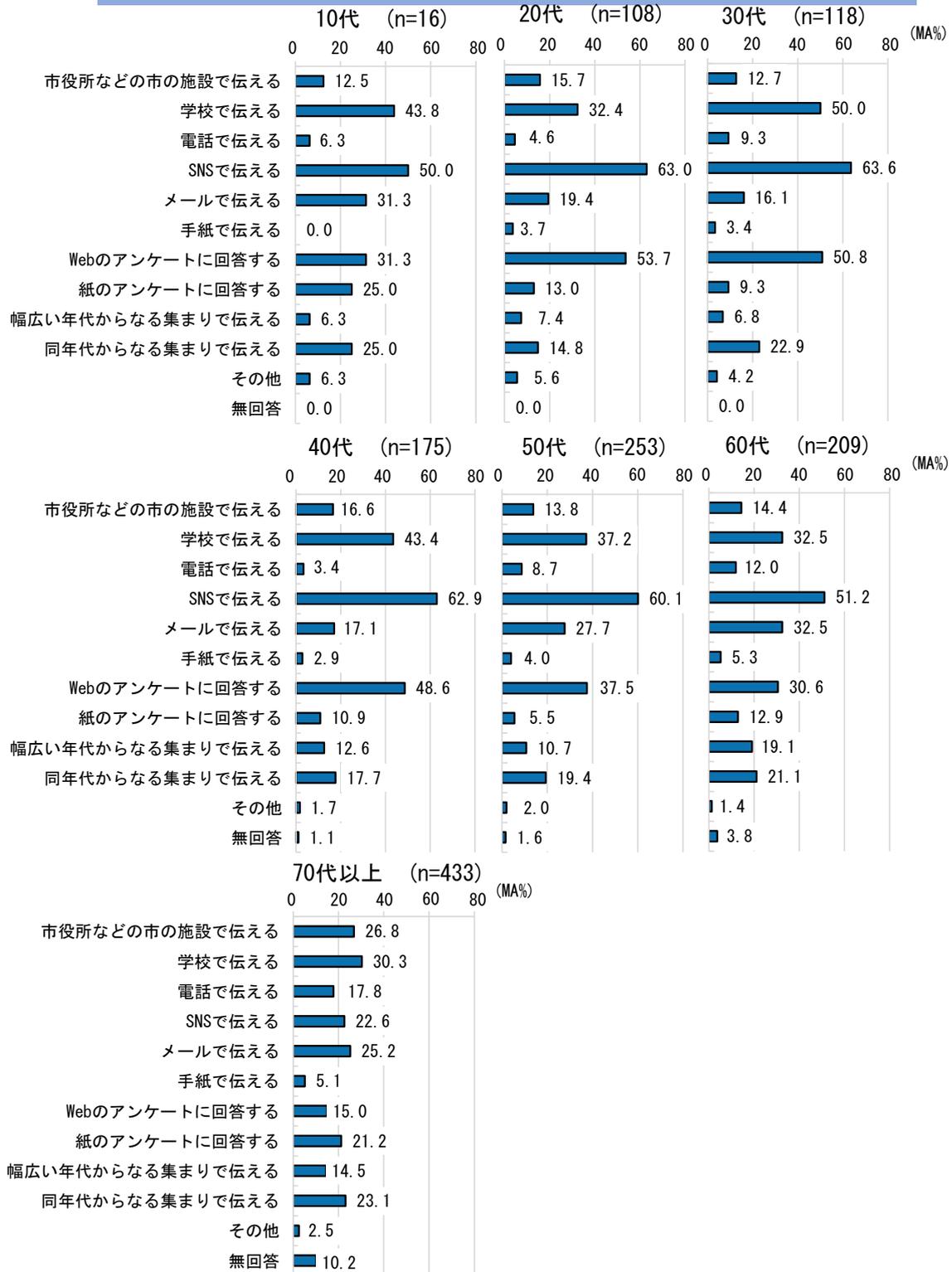
どのような方法や手段があれば、子ども・若者が市に対して意見を伝えやすいと思うかをたずねた。「SNSで伝える」が47.0%と最も高く、次いで「学校で伝える」が35.8%、「Webのアンケートに回答する」が32.8%となっている。(図 3-32)

図 3-33 性別 子ども・若者が市に意見を伝えやすい方法や手段



性別にみると、男女ともに「SNSで伝える」が最も高く、男性で48.2%、女性で45.9%となっている。(図 3-33)

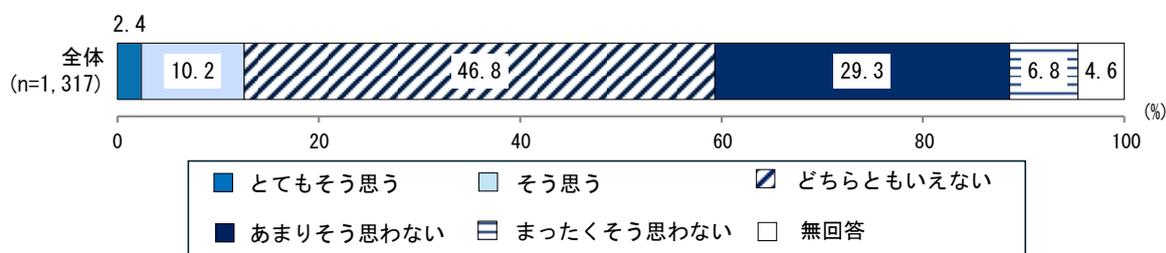
図 3-34 年代別 子ども・若者が市に意見を伝えやすい方法や手段



年代別にみると、60代以下では「SNSで伝える」が最も高く、30代で63.6%、20代で63.0%となっている。一方で、70代以上では「学校で伝える」が30.3%と最も高くなっている。(図 3-34)

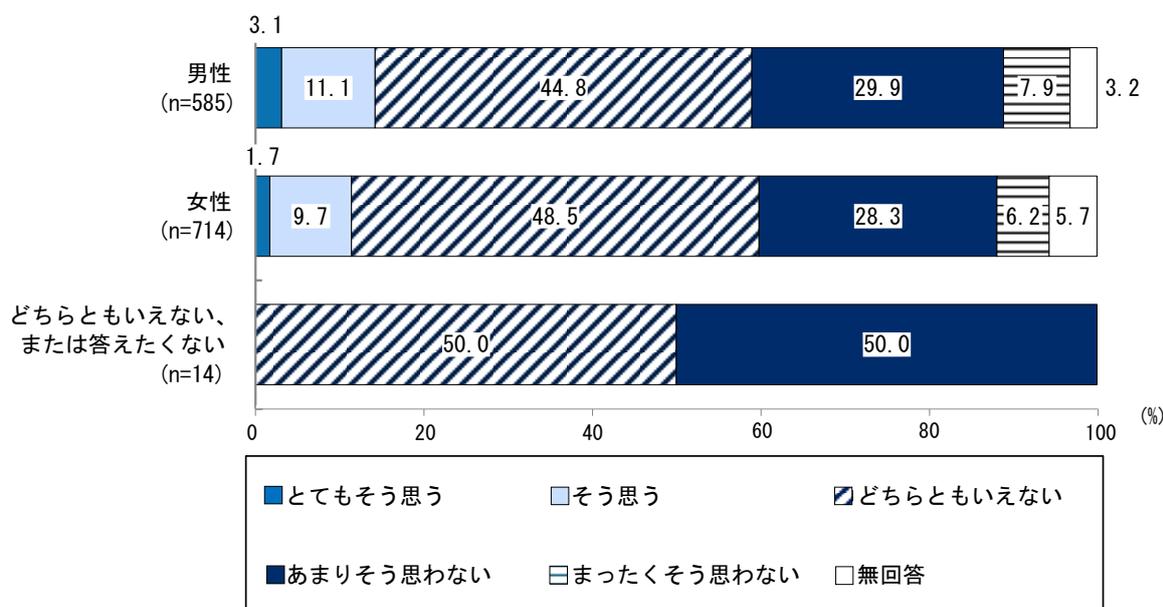
問 25 本市では、安心して子ども・若者が学びや遊びができ、居場所となる施設を充実させていきたいと考えています。あなたは、現在東大阪市内の子ども・若者の居場所は充実していると思いますか。(〇は1つ)

図 3-35 子ども・若者の居場所は充実していると思うか



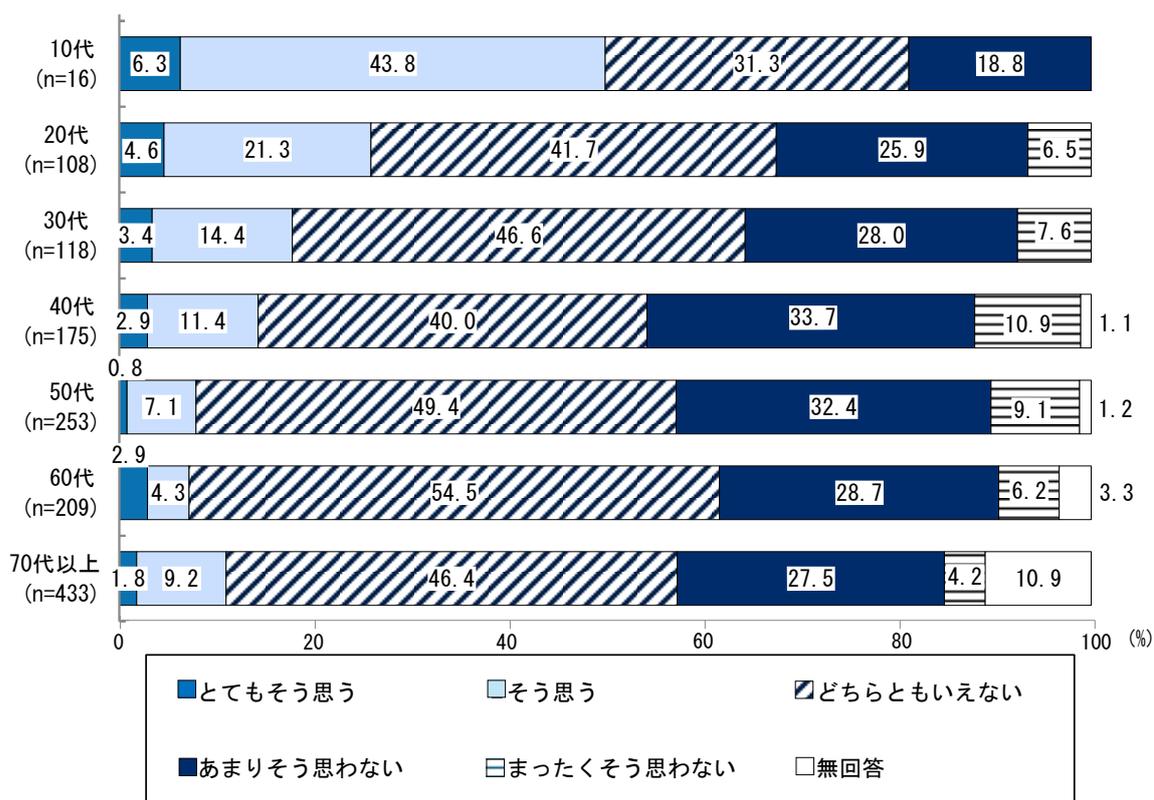
市内の子ども・若者の居場所は充実していると思うかをたずねた。「とてもそう思う」が2.4%、「そう思う」が10.2%、「どちらともいえない」が46.8%、「あまりそう思わない」が29.3%、「まったくそう思わない」が6.8%となっている。(図 3-35)

図 3-36 性別 子ども・若者の居場所は充実していると思うか



性別にみると、男女ともに「どちらともいえない」が最も高くなっている。また、「あまりそう思わない」と「まったくそう思わない」をあわせた『そう思わない』の回答は、男性で37.8%、女性で34.5%となっている。(図 3-36)

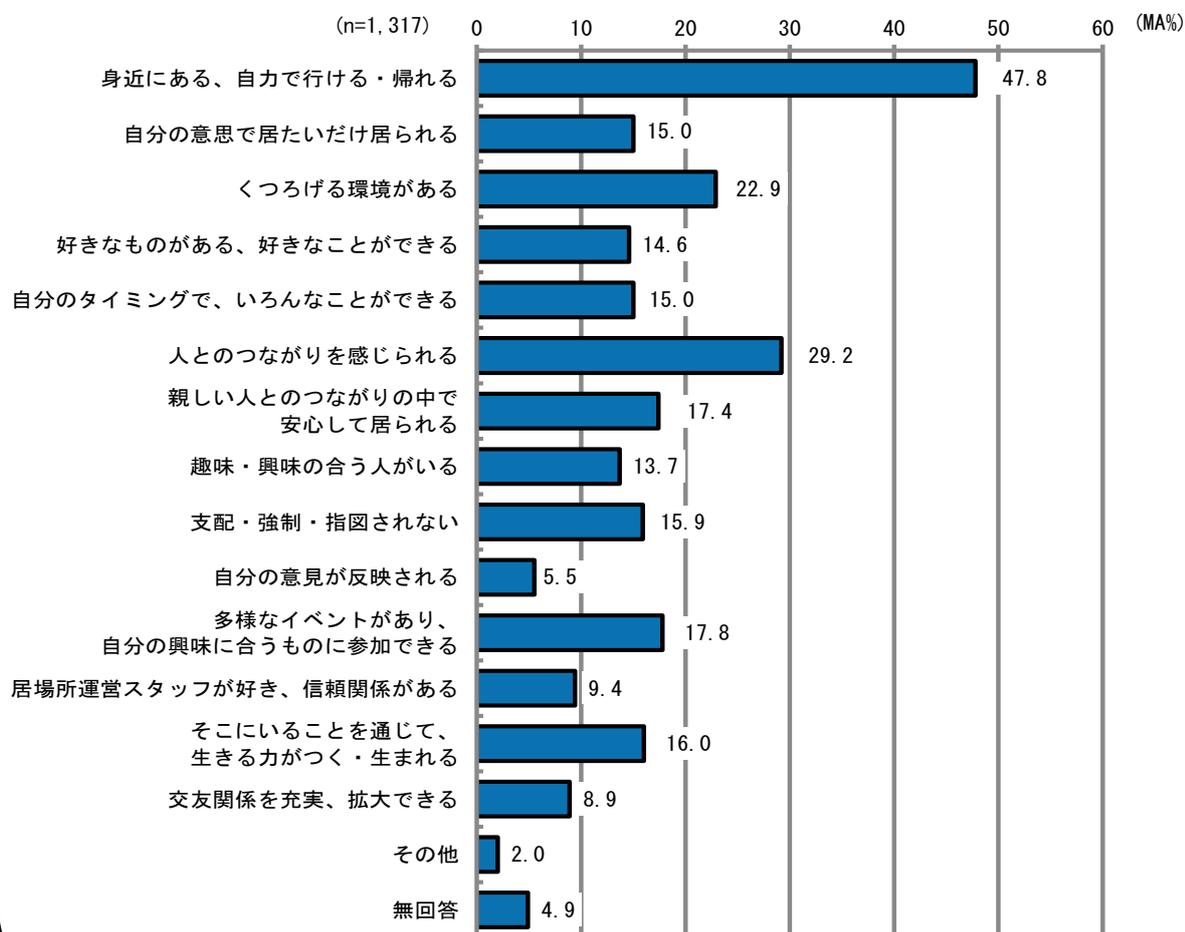
図 3-37 年代別 子ども・若者の居場所は充実していると思うか



年代別にみると、20代以上で「どちらともいえない」が最も高くなっている。また、「あまりそう思わない」と「まったくそう思わない」をあわせた『そう思わない』の回答は、40代で44.6%と最も高く、次いで50代で41.5%、30代で35.6%となっている。(図 3-37)

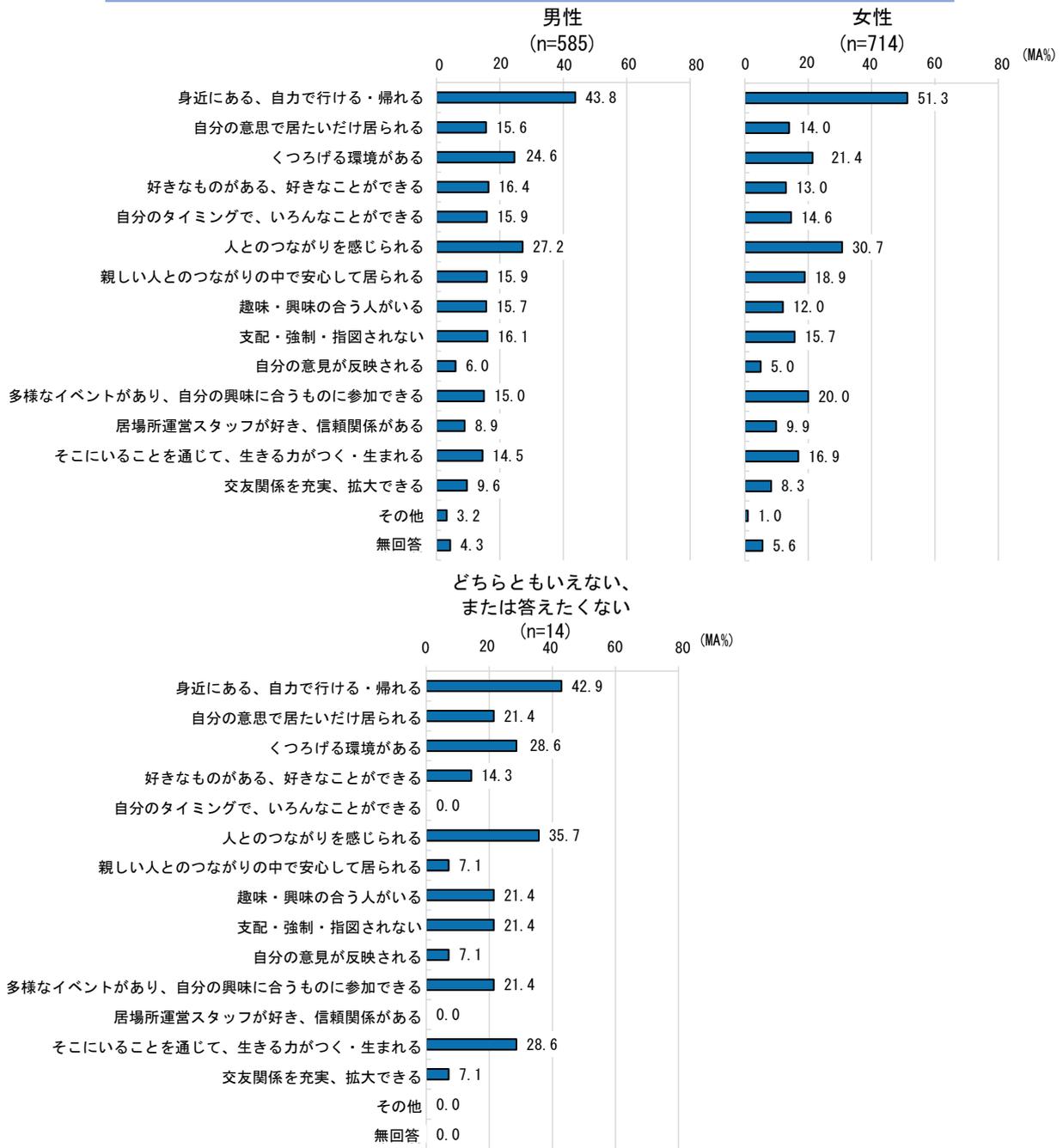
問 26 あなたは、本市において子ども・若者の居場所にどのような要素を求めますか。(〇は3つまで)

図 3-38 子ども・若者の居場所に求める要素



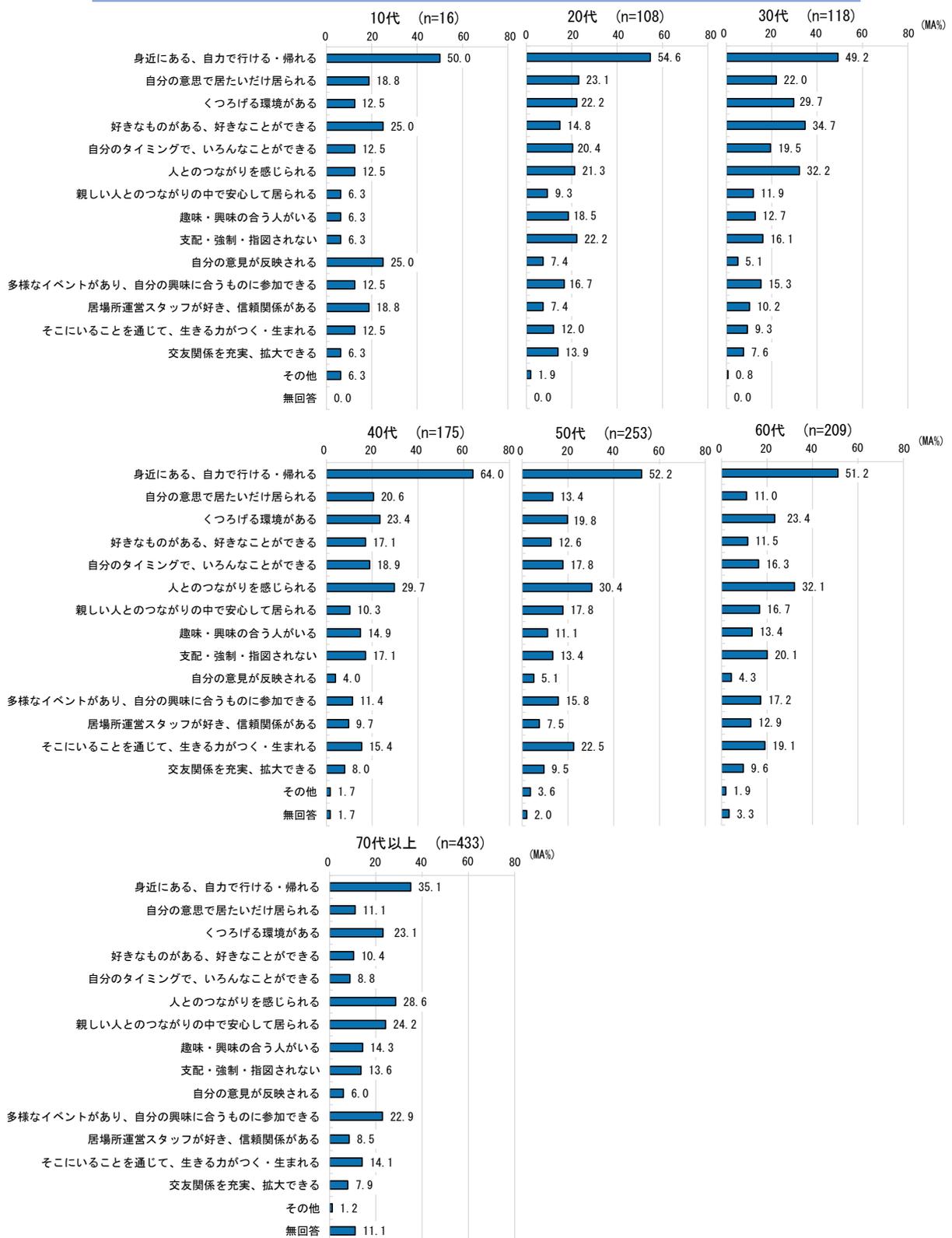
子ども・若者の居場所にどのような要素を求めるかをたずねた。「身近にある、自力で行ける・帰れる」が47.8%と最も高く、次いで「人とのつながりを感じられる」が29.2%、「くつろげる環境がある」22.9%となっている。(図 3-38)

図 3-39 性別 子ども・若者の居場所に求める要素



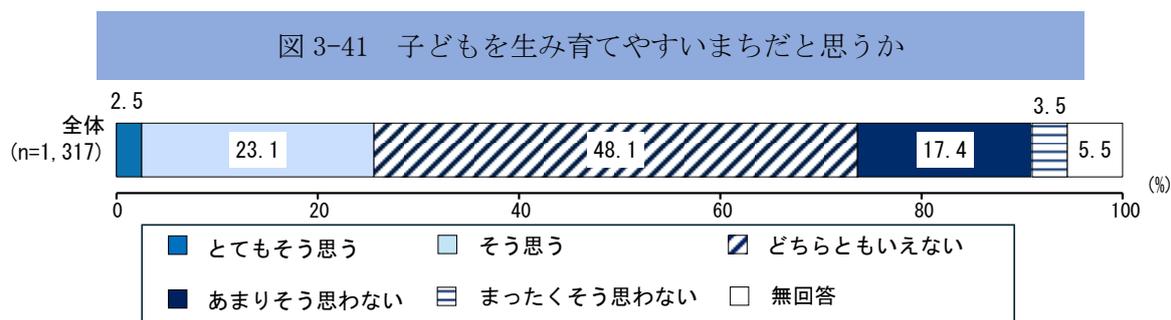
性別にみると、男女ともに「身近にある、自力で行ける・帰れる」が最も高く、男性で43.8%、女性で51.3%と女性が男性を7.5ポイント上回っている。(図 3-39)

図 3-40 年代別 子ども・若者の居場所に求める要素

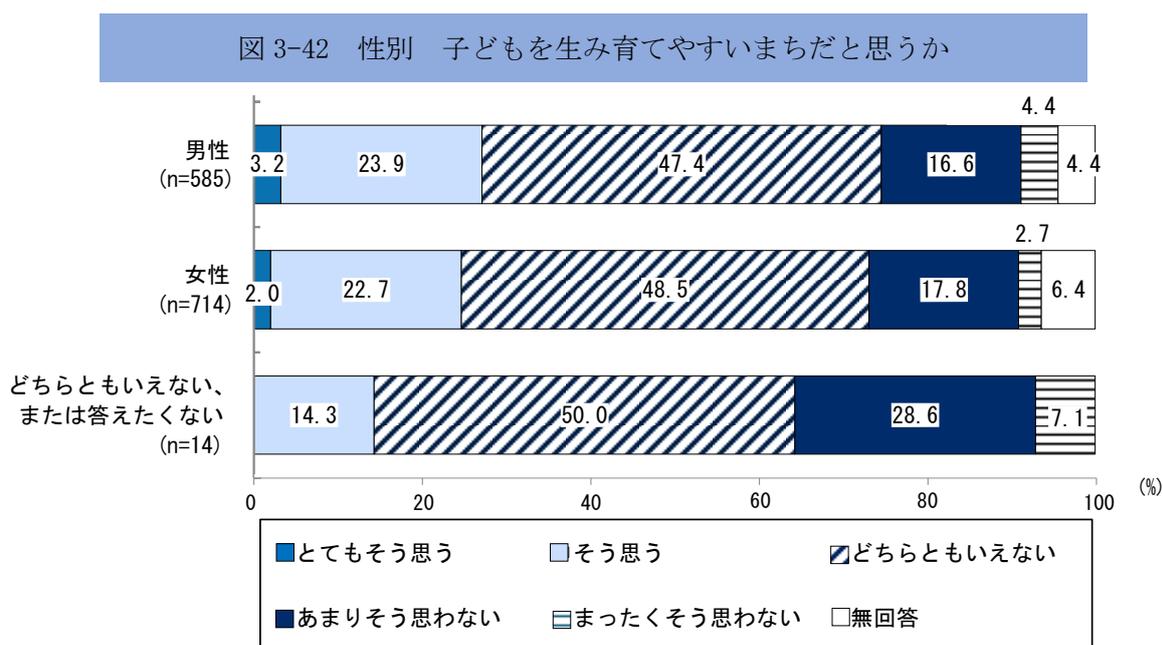


年代別にみると、すべての年代で「身近にある、自力で行ける・帰れる」が最も高くなっている。次いで、40代以上は「人とのつながりを感じられる」、10代と30代は「好きなものがある、好きなことができる」（10代は自分の意見が反映されると同率）、20代は「自分の意思で居たいだけ居られる」が高くなっている。（図 3-40）

問 27 あなたは、本市が子どもを生み育てやすいまちだと思いますか。
(○は1つ)

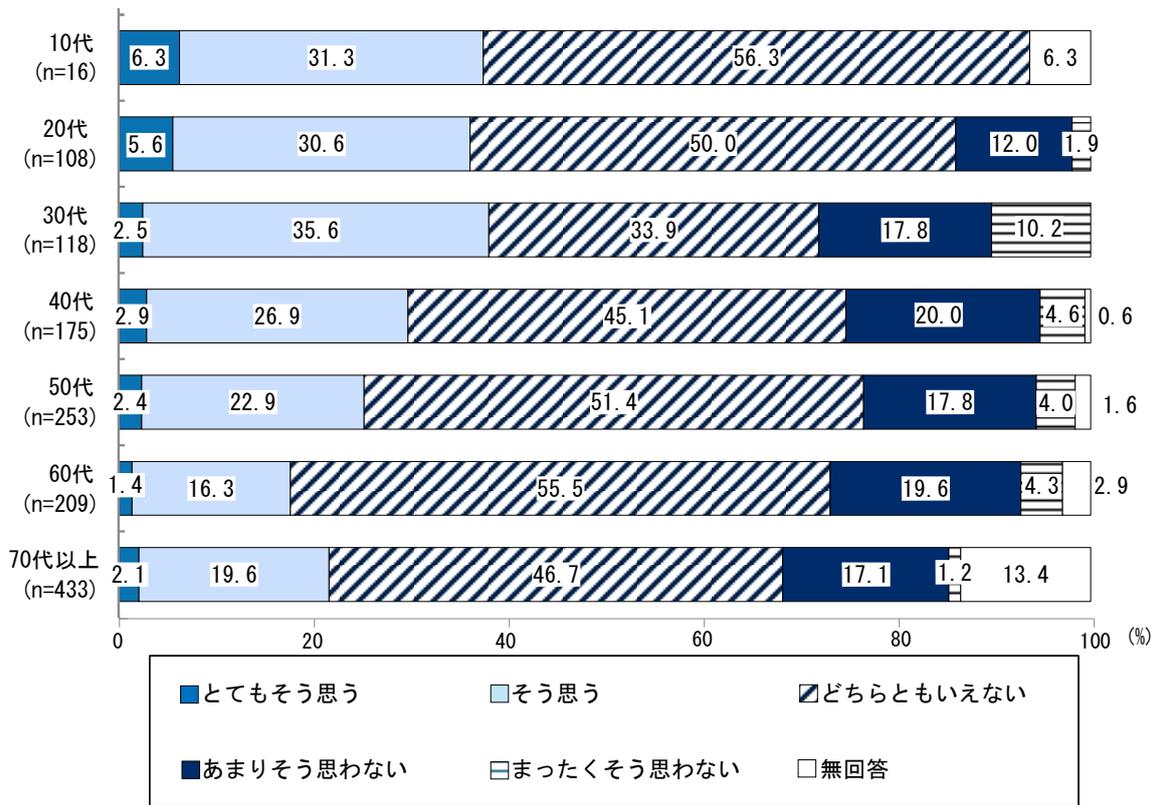


東大阪市が子どもを生み育てやすいまちだと思うかをたずねた。「とてもそう思う」が2.5%、「そう思う」が23.1%、「どちらともいえない」が48.1%、「あまりそう思わない」が17.4%、「まったくそう思わない」が3.5%となっている。(図 3-41)



性別にみると、男女ともに「どちらともいえない」が最も高くなっている。また、「とてもそう思う」と「そう思う」をあわせた『そう思う』の回答は、男性で27.1%、女性で24.7%となっている。(図 3-42)

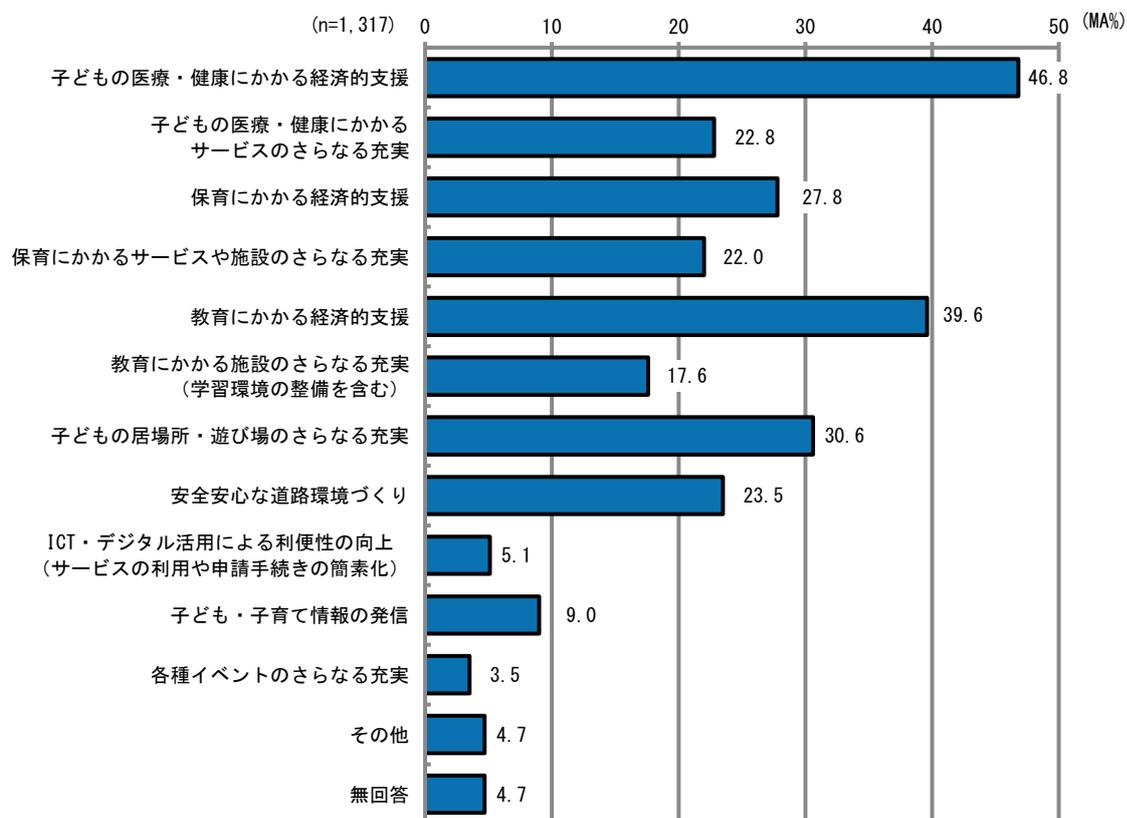
図 3-43 年代別 子どもを生み育てやすいまちだと思うか



年代別にみると、30代以外では「どちらともいえない」が最も高くなっている。また、「とてもそう思う」と「そう思う」をあわせた『そう思う』の回答は、30代で38.1%と最も高くなっている。(図 3-43)

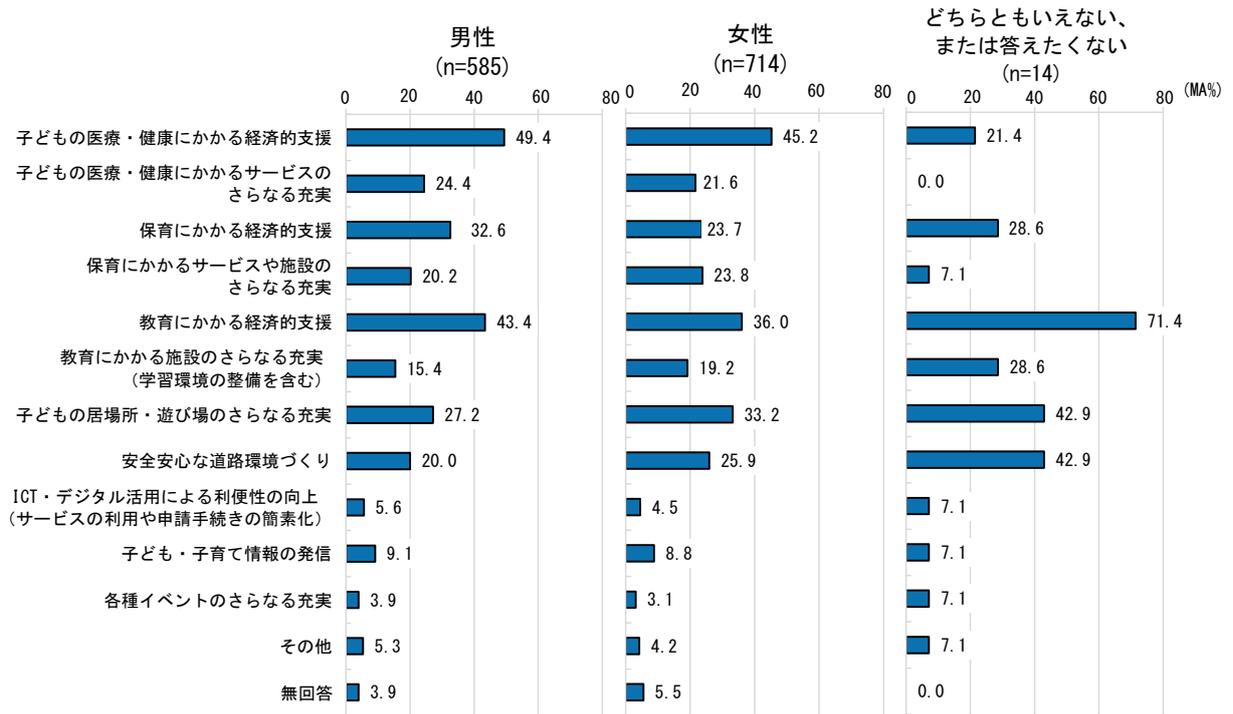
問 28 本市が子どもを生き育てやすいまちとなるには、どのような施策が有効だと思いますか。(〇は3つまで)

図 3-44 子どもを生き育てやすいまちとなるために有効な施策



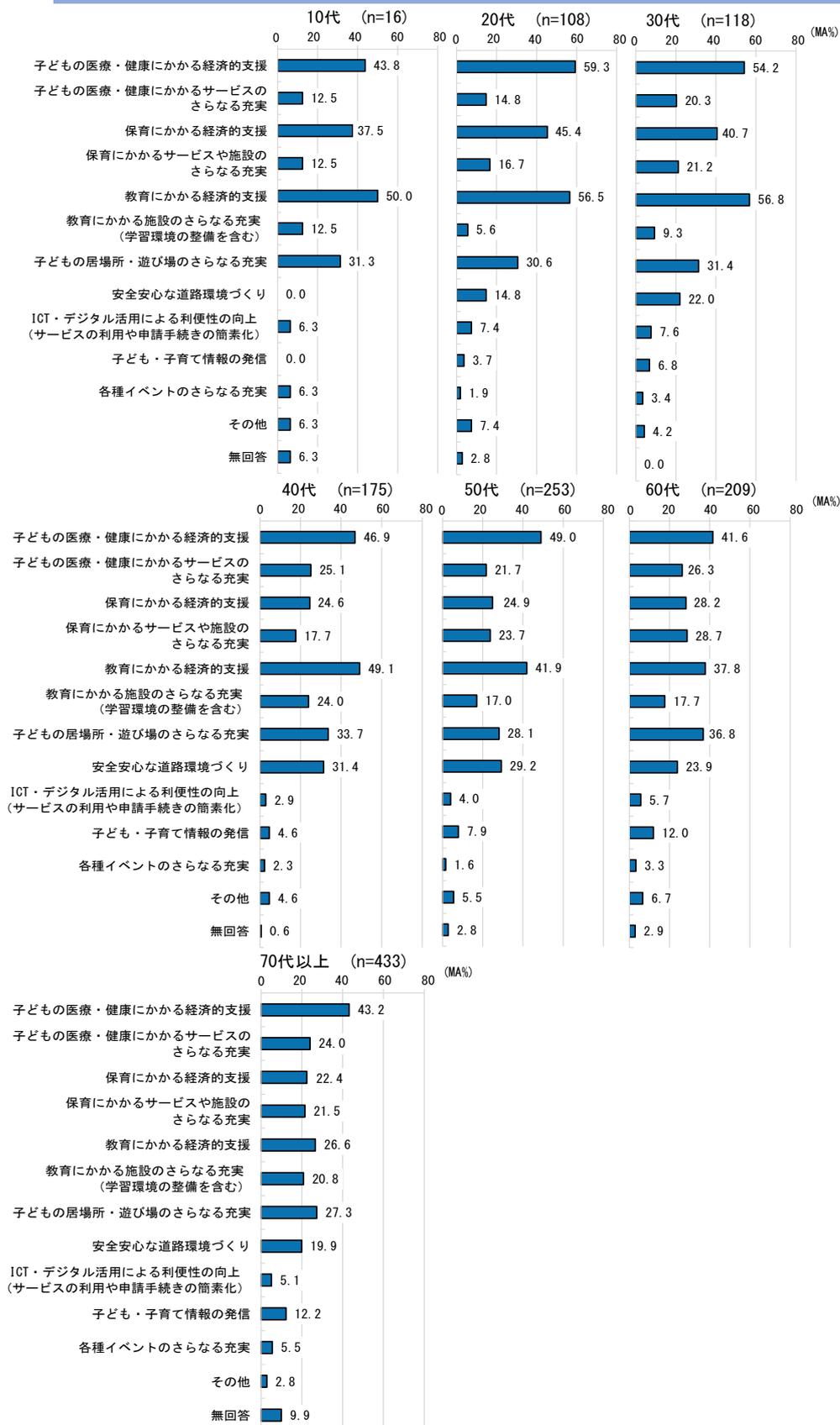
子どもを生き育てやすいまちとなるために、どのような施策が有効だと思うかをたずねた。「子どもの医療・健康にかかる経済的支援」が46.8%と最も高く、次いで「教育にかかる経済的支援」が39.6%、「子どもの居場所・遊び場のさらなる充実」が30.6%となっている。(図 3-44)

図 3-45 性別 子どもを生き育てやすいまちとなるために有効な施策



性別にみると、男女ともに「子どもの医療・健康にかかる経済的支援」が最も高く、男性で49.4%、女性で45.2%となっている。次いで「教育にかかる経済的支援」が高く、男性で43.4%、女性で36.0%と男性が女性を7.4ポイント上回っている。(図 3-45)

図 3-46 年代別 子どもを生み育てやすいまちとなるために有効な施策



年代別にみると、20代と50代以上では「子どもの医療・健康にかかる経済的支援」が最も高くなっている。また、10代、30代、40代では「教育にかかる経済的支援」が最も高くなっている。(図 3-46)